

○事業分野

## 4 健康増進・生活習慣病等予防対策

○目 標

地域住民、関係団体、行政機関が連携し、市町健康増進(食育推進も含む)計画をPDCAサイクルに基づき実施や評価をし、健康づくり体制を推進します。  
健康な生活習慣の情報提供や効果的な保健事業、特定健診・特定保健指導等の未受診者への対策等を推進します。  
また、健全な口腔機能を生涯にわたり維持できるよう、定期的な歯科健診の受診勧奨や歯科口腔保健施策を推進します。

○主な取組

- 各市町健康増進・食育推進計画の推進体制の整備
  - 生活習慣病等に関する情報提供、健康診断等の受診勧奨
  - 歯科口腔保健の推進
- 実施主体:市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、保健所

○圏域別取組実施状況

### 医師会

【熊谷保健所管内】

事業名	特定健診及び各種検診の実施、市民健康フォーラムの実施
実施機関	熊谷市医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	一般市民
【方法】	特定健診、各種検診の円滑な実施に努めるとともに、市民健康フォーラムなどにより、市民への啓発活動を行う。
【手順】	
○R3計画(目標)	事業概要と同様 なお、市民健康フォーラムについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止することとした。
○R2実績	事業概要を踏まえ実施した。 なお、市民健康フォーラムについては、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、令和2年9月2日(水)に会場を介護老人保健施設「めぐもり」に変更し、「新型コロナウイルス感染症に負けない！今日から役立つ知識と対策」をテーマに開催した。開催結果については、動画を当会のHPで公開した。

事業名	深谷寄居医師会広報誌
実施機関	深谷寄居医師会
現状・課題等	深谷市・寄居町住民向けに健康(生活習慣病)等について情報提供
○事業概要	
【対象】	地域住民
【方法】	「イキイキふかや・よりの」の発行
【手順】	会員診療所・歯科診療所(70)・調剤薬局(55)の待合室等、行政施設(深谷市22、寄居町10)に配置
○R3計画(目標)	地域住民が知りたいと思う医療・介護等についての情報誌を発行(年2回発行予定)
○R2実績	年2回発行(第16号「薬について」、第17号「ACP・人生会議」)

事業名	特定健康診断
実施機関	深谷寄居医師会
現状・課題等	深谷市・寄居町住民への健康診断の情報提供と受診勧奨
○事業概要	
【対象】	被保険者、被扶養者等
【方法】	特定健診で指導対象者に特定保健指導の実施
【手順】	集合契約による特定健診(通年)、市町国保集団健診(6月～1月)
○R3計画(目標)	市町国保集団健診等の受診予定者 12,950人
○R2実績	市町国保集団健診受診者 8,166人 受診率 26.2% 市町国受診者保健指導 305人(動機づけ240人、積極的65人) 社会保険(集合契約)による健診受診者 1,197人

**【本庄保健所管内】**

事業名	コロナ影響を踏まえた各種健診事業の実施方法変更の検討
実施機関	本庄市児玉郡医師会
現状・課題等	特定健診は、個別健診の期間を延長したことにより、受診率が増加傾向となっています。集団検診は、新型コロナウイルス感染対策として、1回の受診者数を抑制したことにより、受診率が減少しました。
○事業概要	
【対象】	医師会、医療機関、行政
【方法】	医師会、医療機関、行政及び健診センター4者による健診等の調整
【手順】	コロナの影響を踏まえて特定健診個別の実施時期を早める。また、その他の健診・検診スケジュール見直しを行う。
○R3計画(目標)	本庄市の個別健診開始時期の前倒し等、特定健診等の受診率向上のための施策を検討し実施する。
○R2実績	上里町、神川町、美里町の個別健診の開始時期を11月から10月へ前倒しを行った。 (11月から2月を10月から2月に変更)

## 歯科医師会

### 【熊谷保健所管内】

事業名	第43回「歯の相談室」、8020よい歯のコンクール
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	歯の相談室。参加者は横ばい傾向。8020達成者は年々増加している。新型コロナ禍の中、開催できる方法を検討する。
○事業概要	
【対象】	熊谷市及び近隣市町村の住民
【方法】	イベントを開催
【手順】	
○R3計画(目標)	
○R2実績 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の観点から開催中止	

事業名	歯と口の健康診査
実施機関	熊谷市、熊谷市歯科医師会
現状・課題等	周知の徹底と受診手続きの簡素化を図ったところ、引き続き受診率UPしている。今後は妊産婦健診等にも広げていきたい。
○事業概要	
【対象】	市内に住所を有し、対象年齢に達する方
【方法】	歯科医療機関での健診該当者にはがきを送付。希望者には受診票を送付し、各診療室に持参。
【手順】	各歯科医療機関で実施
○R3計画(目標) 本年度より開始される妊産婦健診もこのイベント等で周知を図りたい。	
○R2実績 歯と口の健康診査 各歯科医療機関にて845件実施 妊産婦科健診 各歯科医療機関にて448名実施	

事業名	熊谷保健所管内歯科保健推進会議、地域保健医療協議会
実施機関	熊谷市、熊谷保健所等、熊谷市歯科医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	北部保健医療圏地域保健医療協議会、介護認定審査会等
【方法】	各種会議への参加
【手順】	会議
○R3計画(目標)	
○R2実績 ①令和2年 7月30日 在宅拠点事業担当歯科医師及び歯科衛生士との合同連絡会 ②令和2年 9月17日 熊谷市自立支援型地域ケア会議 熊谷市商工会館 ③令和2年10月15日 熊谷保健所管内歯科口腔保健連携会議 熊谷保健所 ④令和2年11月19日 熊谷市自立支援型地域ケア会議 熊谷市商工会館 ⑤令和3年 3月11日 在宅拠点合同連絡会 オンライン会議 介護認定審査会に、各合議体に1名ずつ、半年任期で9名、年間18名の審査委員を派遣	

事業名	むし歯・歯周病予防イベント(深谷健康ミニフェスタ)
実施機関	深谷市・埼玉県歯科衛生士会北部支部 大里郡市歯科医師会
現状・課題等	歯科口腔保健推進計画を踏まえ、定期的な歯科健診受診者の減少に歯止めをかけ、地域住民に歯科保健の重要性を啓発する。
○事業概要	
【対象】	就学前小児と保護者・成人
【方法】	歯科健診・相談により歯科保健の重要性を普及・啓発
【手順】	
○R3計画(目標) 今年度は未定	
○R2実績 実績なし	

事業名	8020よい歯のコンクール
実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会
現状・課題等	地域住民の健康長寿を達成するため、日本歯科医師会の推進する「8020運動」を普及
○事業概要	
【対象】	80歳以上で20本以上残存歯のあるお年寄り
【方法】	歯科医師会会員の診療所、または保健センターからの推薦を受け当該患者さんの表彰を行う。特に優秀な方は、埼玉県歯科医師会に推薦し、表彰を行う。
【手順】	
○R3計画(目標)	今年度開催中止
○R2実績	開催中止

事業名	節目健診、健康長寿健診
実施機関	深谷市・大里郡市歯科医師会
現状・課題等	地域の歯科口腔保健の推進
○事業概要	
【対象】	40～70歳の5歳ごとの節目該当者
【方法】	行政、広域連合等が行っている上記事業への協力と当該患者さんへの健診、歯科保健指導
【手順】	
○R3計画(目標)	深谷市保健センターと大里郡市歯科医師会が受診者数増加のためのさらなる広報。
○R2実績	保健センターから未受診の該当市民へ再通知・保健指導 各会員診療所にて随時健診・指導

事業名	深谷市福祉健康まつり
実施機関	深谷市・大里郡市歯科医師会
現状・課題等	当ブースに毎年100名前後の来場者がある。歯科相談や刷牙指導に加え他の公衆衛生事業をしたい。
○事業概要	
【対象】	深谷市福祉健康まつり来場者
【方法】	屋外でテントを設営し歯科相談、刷牙指導をする
【手順】	
○R3計画(目標)	今年度開催中止
○R2実績	開催中止

事業名	小児う蝕予防対策事業
実施機関	埼玉県歯科医師会・大里郡市歯科医師会
現状・課題等	埼玉県歯科口腔保健計画を踏まえ、小児う蝕予防の推進
○事業概要	
【対象】	幼稚園・保育所・小中学校
【方法】	集団によるフッ化洗口の実施
【手順】	
○R3計画(目標)	今年度は未定
○R2実績	研修会の実績なし。数校の小中学校でのフッ素洗口実施はあり。

【本庄保健所管内】

事業名	赤ちゃんから始める お口の中から健康づくり
実施機関	JA ひびきの 本庄市児玉郡歯科医師会
現状・課題等	乳幼児の口腔周囲筋の低下により、歯列不正、正しい呼吸および嚥下ができない問題が起こっている。また、虫歯予防の為に、フッ化物を利用した予防法について正しい理解をして頂くことを目標とする。
○事業概要	
【対象】	乳幼児を含む親子
【方法】	JAひびきの主催による歯科口腔講習会
【手順】	乳幼児を含む親子を対象に、口腔育成や、フッ化物によるウ蝕予防について、講演および、体験実習も兼ねて理解してもらう。
○R3計画(目標)	乳幼児期の口腔育成、虫歯予防の大切さが生涯のなかで最も重要な時期であると周知してもらう。(新型コロナウイルス感染症のため未定)
○R2実績	新型コロナウイルス感染症(COVID-19)蔓延のため中止

事業名	本庄市(3歳児半、4歳児)、美里町(2歳児、5歳児)、神川町(2歳児)、上里町(2歳児半) 個別歯科健診
実施機関	児玉郡在住の2歳児、2歳児半、3歳児半、4歳児、5歳児
現状・課題等	本庄市における、幼児のう蝕率は、まだ低いとはいえない。幼児期から、歯科健診と予防を強化し、この時期から、かかりつけ医を見つけて生涯にわたり、管理していくことが最も重要である。
○事業概要	
【対象】	児玉郡在住の2歳児、2歳児半、3歳児半、4歳児、5歳児
【方法】	本庄市児玉郡歯科医師会の登録歯科医院における個別歯科健診(フッ化物歯面塗布も含む)
【手順】	本庄保健センターより、対象者に通知をおこない、事前に問診票を記載して頂き、個別歯科健診およびフッ化物塗布をおこなう。結果は、母子手帳に記載。
○R3計画(目標)	幼児期からのかかりつけ歯科医をみつけて頂くことを目標とする。
○R2実績	個別健診も受診者が増加傾向にある。

事業名	妊婦歯科健診(神川町はマタニティーデンタルチェックで妊婦の歯科健診や歯科に関する講義、上里町はマタニティー広場で歯科に関する講義を開催)
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会、本庄市、美里町、神川町、上里町
現状・課題等	少子化が進む社会において、妊娠中からお母さんの口腔状態も良くすることは、とても重要なことである。出産前からお母さん、子供の健康を守る為、妊婦歯科健診の需要が必出である。
○事業概要	
【対象】	本庄市、美里町、神川町、上里町在住の妊婦
【方法】	対象者に保健センターより通知。本庄市児玉郡歯科医師会の個別歯科健診
【手順】	対象者に配布されている、問診、健診票を記載、提出。個別歯科健診後に母子手帳に結果を記載。
○R3計画(目標)	本庄市児玉郡全域に周知して多くの妊婦さんに健診を受けていただきたい。
○R2実績	需要率が高まり、口腔環境が妊娠中は、特に重要であると周知された。平成30年度より、本庄市、美里町でも実施されることとなった。

事業名	歯周疾患健診
実施機関	本庄市児玉郡歯科医師会、本庄市、美里町、神川町、上里町
現状・課題等	歯の喪失原因 第1位の歯周病。成人の8割以上が、罹患している。生活習慣病にも大きく関与。
○事業概要	
【対象】	本庄市児玉郡市内に在住の30、40～80歳までの節目年齢の方
【方法】	各市町から広報等で周知して頂き、歯科医師会指定の個別歯科健診
【手順】	各市町保健センターから、各歯科医院に送られている、歯科健診票に従って施行、結果についてもその場で、判定し今後の受診の進めや指導を行う。
○R3計画(目標)	全身と歯周病についての理解と、受診率のさらなるUPと健康の保持増進に努めていきたい。
○R2実績	歯周疾患健診も周知されるようになり受診率も上がってきている。平成30年度より本庄市では、73歳、80歳も健診出来るようになった。

<b>事業名</b>	<b>上里ふれあい祭り 8020運動よい歯のコンクール表彰式</b>
<b>実施機関</b>	本庄市児玉郡歯科医師会、上里町、衛生士会、葵学園、多企業 ほか
<b>現状・課題等</b>	毎年恒例の行事となっている。
<b>○事業概要</b>	
<b>【対象】</b>	地域住民 および 8020運動よい歯のコンクール表彰者
<b>【方法】</b>	オーラルヘルスプロモーション、8020表彰式
<b>【手順】</b>	歯ブラシ指導、フッ化物洗口体験、う蝕活動試験 口腔機能検査など
<b>○R3計画(目標)</b>	上里ふれあい祭りは、新型コロナウイルス感染症のため中止。 8020表彰もコロナ禍のため表彰状と記念品をご自宅に届ける予定。
<b>○R2実績</b>	上里ふれあい祭りは、新型コロナウイルス感染症のため中止。 8020表彰者6名(コロナ禍のため表彰状と記念品をご自宅に届けた)

<b>事業名</b>	<b>神川コスモス祭り 8020運動よい歯のコンクール表彰式</b>
<b>実施機関</b>	本庄市児玉郡歯科医師会 神川町
<b>現状・課題等</b>	平成28年度より新しい事業として発足。
<b>○事業概要</b>	
<b>【対象】</b>	地域住民 および 8020運動よい歯のコンクール表彰者
<b>【方法】</b>	オーラルヘルスプロモーション 8020表彰式
<b>【手順】</b>	歯科医師会のブースを設け、住民の皆様にご診査、体験、見学をしてもらい関心を持って頂く。また、8020表彰式も同時に行い、周知して頂く。
<b>○R3計画(目標)</b>	神川コスモス祭りは、新型コロナウイルス感染症のため中止。 8020表彰もコロナ禍のため表彰状と記念品をご自宅に届ける予定。
<b>○R2実績</b>	神川コスモス祭りは、新型コロナウイルス感染症のため中止。 8020表彰者3名(コロナ禍のため表彰状と記念品をご自宅に届けた)

<b>事業名</b>	<b>本庄市8020 よい歯のコンクール表彰式</b>
<b>実施機関</b>	本庄市児玉郡歯科医師会、本庄市
<b>現状・課題等</b>	8020運動表彰式は、毎年恒例となっており、目標として頂ける活動の一つとして周知されている。
<b>○事業概要</b>	
<b>【対象】</b>	80歳以上で20本以上ある方(住民票が本庄市にある方)
<b>【方法】</b>	8020歯科健診
<b>【手順】</b>	歯科医師会推薦の方を対象者とし、毎年 交互に本庄会場、児玉会場にて8020表彰を行う。
<b>○R3計画(目標)</b>	コロナ対策を徹底し、後期高齢者の健康を保持増進させるために行う。
<b>○R2実績</b>	新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら健診を行った。80歳で20本を目標に頑張っている高齢者が増加している。受賞者4名(本庄市役所3階市長応接室にて行った)

<b>事業名</b>	<b>美里町 健康まつり 8020表彰式 歯科講演会</b>
<b>実施機関</b>	本庄市児玉郡歯科医師会、美里町
<b>現状・課題等</b>	美里町 健康まつり および 講演会
<b>○事業概要</b>	
<b>【対象】</b>	美里町住民
<b>【方法】</b>	オーラルヘルスプロモーション 8020よい歯コンクール表彰式、歯科講演会
<b>【手順】</b>	毎年恒例の行政が中心となった健康まつりで、歯科相談、8020表彰式。今年度は、歯科講演会の日を別途設け、高齢者対象に大規模に開催。
<b>○R3計画(目標)</b>	コロナ対策を徹底する。今回は、高齢者を対象にオーラフレイルの予防、口腔機能トレーニングのお話をする。
<b>○R2実績</b>	新型コロナウイルス感染予防対策を徹底するため、町長・対象者・行政関係者のみで式典を行った。受賞者20名。

<b>事業名</b>	<b>フッ化物 洗口(週1回法)</b>
<b>実施機関</b>	本庄市児玉郡歯科医師会、本庄市・神川町・上里町
<b>現状・課題等</b>	小中学校におけるフッ化物洗口が浸透し結果が出ている。美里町にも検討して頂けることを期待する。
<b>○事業概要</b>	
<b>【対象】</b>	本庄市・神川町・上里町の小中学校
<b>【方法】</b>	週1回法 フッ化物洗口
<b>【手順】</b>	予め、決められた用法、用途、管理にて先生に実施してもらう。歯科医師会指導済
<b>○R3計画(目標)</b>	DMFT指数が、年々、良い結果になってきており、是非、今後とも継続していきたい。
<b>○R2実績</b>	例年同様に行われた。フッ化物について習慣化し始め、より理解、周知されるようになった。

## 薬剤師会

### 【熊谷保健所管内】

事業名	薬と健康フェア・産業祭
実施機関	熊谷薬剤師会
現状・課題等	健康増進・生活習慣病の予防に関し、市民に対して生活習慣の改善、健康測定や健診の重要性、薬の適正使用等について啓発する。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	市民公開講座の開催、健康測定・健康相談・薬相談の実施
【手順】	生活習慣病に関する講演会の開催や、薬相談・健康相談・各種健康測定を実施し、市民に対して健康増進・生活習慣病予防・薬の適正使用・健診の重要性等について啓発する。
○R3計画(目標)	1. 公民館等での健康や薬に関する講演会の開催 2. メディアや配布物による啓発活動
○R2実績	1. 薬と健康フェア(新型コロナ感染拡大のため中止) 2. 熊谷市産業祭(新型コロナ感染拡大のためウェブ開催に参加)

事業名	生活習慣病に関する講習会・勉強会の実施
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	薬剤師会会員の生活習慣病治療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を開催する。
○事業概要	
【対象】	薬剤師会会員
【方法】	薬剤師会会員の生活習慣病治療に対する知識のレベルアップのための講習会や勉強会を開催する。
【手順】	薬剤師会定期講習会のスケジュールに組み込みます。
○R3計画(目標)	深谷市薬剤師会主催勉強会の開催
○R2実績	・深谷市薬剤師会勉強会(R2.12.2 薬物乱用教室 タバコとお酒)

事業名	健康まつり等における生活習慣病相談の実施 (地域住民に生活習慣病についての知識を普及させるため)
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	生活習慣病予防のための知識の普及啓発に取り組む。
○事業概要	
【対象】	地域住民
【方法】	健康まつりに参加し健康相談・おくすり相談の実施、生活習慣病予防のアドバイスをおこないます。
【手順】	生活習慣(食事・運動など)の改善指導、健康食品の利用により予防のためのセルフケアをすすめます。
○R3計画(目標)	・健康まつり等において地域住民に対する啓発活動を行う ・市民公開講座の開催
○R2実績	・深谷寄居医師会広報誌に「薬について」執筆。 ・健康まつり・市民公開講座は新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため中止。

事業名	各市町健康増進・食育推進計画の推進体制の整備
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	計画策定に携われるのは、学校薬剤師がその担当の学校保健安全委員会においてのみ可能な状況であるので、まずはその機会を活用してすすめる。
○事業概要	
【対象】	地域の小中学校の児童や生徒その保護者や先生など
【方法】	担当学校薬剤師を通じて、児童・生徒に「健康増進・食育向上」に関する正しい知識を伝達し、そのためにどのような行動すべきかについて助言をする。
【手順】	
○R3計画(目標)	各学校を訪問することができないため、各自が自分の得意分野のスキルアップ研修を随時行う。
○R2実績	各市町内の学校薬剤師が担当学校の保健安全委員会にて、教師や保護者にも指導・助言を1回実施しました。

事業名	生活習慣病等に関する情報提供、健康診断等の受診勧奨
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	会員薬局に来局される患者さんはすでに医師の治療を受けており、かなり意識は高いと思われるので、「健康の大切さ」への問題意識をスムーズに伝達できると思われる。新型コロナウイルスが重症化する確率は基礎疾患を持っている人が大きいとされており、自分の病気をできるだけ改善しようと考えている方に適切な助言を行うことが重要になってきた背景はある。
○事業概要	
【対象】	会員薬局を利用している地域住民
【方法】	服薬指導の中で提案、助言する。
【手順】	町の特定健診、各種健診のポスターを掲示して町民に告知する。
○R3計画(目標)	今年度は、健康まつりが中止のため、健診啓発やその実施案内のポスターを配布し、各会員薬局において来局者に告知する。
○R2実績	11月10日開催予定の健康まつりは中止で計画していたことは実践できませんでした。寄居町の健診の日程が明示してあるポスターを各会員薬局に貼って啓発しました。

#### 【本庄保健所管内】

事業名	健康増進・食育に関する理解
実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会
現状・課題等	健康増進・食育推進について引き続き学ぶ。
○事業概要	
【対象】	会員薬局
【方法】	定例の勉強会にて健康増進・食育について学ぶとともにサイボウズにおいて情報を提供する。
【手順】	
○R3計画(目標)	今年度も新型コロナウイルスの影響で勉強会を開催できないので、健康増進・食育に関し各自学んでもらう。
○R2実績	定例の勉強会が2回しか開催できなかった。

事業名	地域住民への生活習慣病に関する知識の普及
実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会
現状・課題等	生活習慣病等の予防、重症化予防について学び、情報を提供する。
○事業概要	
【対象】	地域住民・会員薬局
【方法】	血液検査等の数値をチェックし、必要に応じてアドバイスする お薬手帳に数値を記入したり、重症化する前に受診を勧奨する。
【手順】	
○R3計画(目標)	処方箋に検査値がついているのがどんどん増えているのを踏まえ、検査値を参考に適切なアドバイスをする。
○R2実績	お薬手帳持参率が上がってきている。



**行政**

**【熊谷保健所管内】**

事業名	健康長寿埼玉プロジェクト推進事業、食育推進事業		
実施機関	熊谷保健所		
現状・課題等	生活習慣病の予防や生活習慣の改善を促進し、健康寿命の延伸と健康格差の縮小が埼玉県健康長寿計画の目的であり、地域における生活習慣病の発症と重症化予防が課題である。		
○事業概要			
【対象】	各市町、健康づくり・食育関係団体、医療機関、福祉施設等		
【方法】	会議への参加・研修会等による活動支援		
【手順】	市町・食育・健康づくり関係団体への情報提供、活動支援、研修会の開催		
○R3計画(目標)	1 食育推進研修会	1回	
	2 食育の会活動支援 情報提供	3回	メールによる情報提供
	3 県栄養士会北部地区事業部活動支援	2回	
	4 市町健康づくり関係事業支援	2回	
○R2実績	1 大里地域食育推進研修会	1回	51人
	2 食育の会活動支援 情報提供	3回	メールによる情報提供
	3 県栄養士会北部地区事業部活動支援	1回	7人
	4 市町健康づくり関係事業支援	2回	

事業名	地域・職域連携推進事業 データヘルス推進事業		
実施機関	熊谷保健所		
現状・課題等	地域住民の健康課題を明確にし、生活習慣病の発症と重症化予防のための事業が求められている。市町と協力し健康課題を改善するための効果的な保健事業につなげることが課題である。		
○事業概要			
【対象】	各市町、医療機関、国保連合会、協会けんぽ埼玉支部、事業所等		
【方法】	会議や研修会の開催		
【手順】	市町ヒアリング、拠点保健所研修会等の開催		
○R3計画(目標)	1 管内市町健康づくり事業調査 3市町(新型コロナ感染拡大のため文書照会)		
	2 データヘルス推進事業に係る拠点保健所研修会	1回	
	3 働く世代の健康づくり研修会		(新型コロナ発生状況により不明)
○R2実績	1 管内市町健康づくり事業聞き取り調査 3市町(新型コロナ感染拡大のため文書照会)		
	2 データヘルス推進事業に係る県主催研修会(新型コロナ感染拡大のため欠席)		
	3 糖尿病性腎症重症化予防対策会議		
	4 働く世代の糖尿病重症化予防研修会		(新型コロナ感染拡大により未実施)

事業名	歯科口腔保健計画推進事業		
実施機関	熊谷保健所		
現状・課題等	地域包括ケア体制の整備に伴い、在宅における歯科口腔保健体制の整備が求められている。		
○事業概要			
【対象】	各市町、歯科医師会、歯科衛生士会、栄養士会、地域包括支援センター等		
【方法】	会議の開催		
【手順】	保健所歯科口腔保健連携会議の開催		
○R3計画(目標)	保健所歯科口腔保健連携会議	1回	(新型コロナ感染拡大のため延期)
○R2実績	保健所歯科口腔保健連携会議	1回	36人

事業名	健康マイレージ事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	健康マイレージという仕組みを利用し、健康寿命の延伸を図ることを目指す。
○事業概要	
【対象】	18歳以上の市民
【方法】	専用の歩数計又はスマートフォンアプリを使用し、参加者の歩数を計測する。歩数データを送信したり、各種指定事業に参加することでポイントが貯まり、一定ポイントで抽選にエントリーされる。
【手順】	
○R3計画(目標)	参加人数を増加させる。
○R2実績	申込者数(3月末) 2,523人

事業名	健康増進計画の推進、策定
実施機関	熊谷市
現状・課題等	熊谷市第4次健康増進計画に基づき、市民一人一人が行う健康づくりを、地域社会で支援することにより「健康で安全・安心に暮らせるまち くまがや」を目指す。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	基本項目を掲げ、目標達成のための施策の推進を図る。
【手順】	目標値の状況を毎年把握し、評価検証を行い、市民健康寿命の延伸を図る。
○R3計画(目標)	目標項目を掲げ、目標達成のための施策の推進を図る。
○R2実績	目標値に対する項目別状況 順調9、おおむね順調13、遅れている31

事業名	糖尿病予防教室
実施機関	熊谷市
現状・課題等	糖尿病予防のために必要な知識の普及啓発に努めます。
○事業概要	
【対象】	糖尿病予防に関心のある市民
【方法】	市報や前年度の特定健診の結果、HbA1cが基準値を超えている方に
【手順】	案内通知などにより周知し、教室を開催(年3コース 1コース2回) 教室では、①糖尿病予防の講話、運動の実技指導 ②個別相談を実施
○R3計画(目標)	
○R2実績	からだ見直し講座に再編

事業名	ヘルスアップ教室
実施機関	熊谷市
現状・課題等	生活習慣病予防のために、必要な栄養・運動に関する知識の普及啓発に努めます。
○事業概要	
【対象】	運動習慣のない市民(主治医による運動制限のない方)
【方法】	市報・ホームページ等により周知し、教室を開催(年12コース 1コース2回)
【手順】	食生活の講話、運動の実技指導を実施
○R3計画(目標)	参加者数 延べ600人
○R2実績	開催回数 17回 参加者数 延べ149人

事業名	がんばる女性の健康セミナー
実施機関	熊谷市
現状・課題等	自らの健康を見直す機会の少ないおおむね20歳代から40歳代の女性に対し、健康づくりに関する知識の普及啓発に努める。
○事業概要	
【対象】	おおむね20歳代から40歳代の女性市民(妊娠中の方は除く。)
【方法】	市報・ホームページ等により周知し、希望者は、セミナーの開催場所になる子育て支援拠点に直接、申込み。セミナーを年8回開催
【手順】	セミナーでは乳がん・子宮がんの講話、運動の実技指導を実施
○R3計画(目標)	参加者数 80人
○R2実績	開催回数 3回 参加者数 37人

事業名	個別がん検診等
実施機関	熊谷市
現状・課題等	各医療機関と連携を図りながら、受診率の向上に努める。
○事業概要	
【対象】	胃がん検診:50歳以上(2年に1回)、大腸・肺がん検診:40歳以上 乳がん検診:40歳以上の女性(2年に1回)、子宮頸がん検診:20歳以上の女性 (2年に1回)、前立腺がん検診:50歳以上の男性、 骨粗鬆症検診:40・45・50・55・60・65・70歳の女性 肝炎ウイルス検診:40歳の方
【方法】	市内83医療機関にて個別検診を実施
【手順】	実施期間:6月～3月。周知は、市報・ホームページによる広報。前年度受診者及び 20・25・30・35歳の女性、40・45・50・55・60・65・70・75・80歳の方、受診券 の申込をされた方及び前々年度胃がん・乳がん・子宮頸がん受診者へ受診券を送付
○R3計画(目標)	受診率 胃がん検診50%、肺がん検診50%、大腸がん検診50%、子宮頸がん検診50% 乳がん検診50%
○R2実績	受診率 胃がん検診14.5%、肺がん検診9.2%、大腸がん検診9.2%、子宮頸がん検診 12.8%、乳がん検診12.0%

事業名	出前健康教室
実施機関	熊谷市
現状・課題等	市民が主体的に健康づくりに取り組めるように健康づくりに関する知識の普及啓発に努める。
○事業概要	
【対象】	市内在住の10人以上の一般団体及びグループ
【方法】	市報・ホームページ等で周知を行い、依頼により保健師・管理栄養士・運動指導者等が 地域に出向き、成人・高齢者の健康づくりに関する教室を開催
【手順】	
○R3計画(目標)	参加者数 延べ500人
○R2実績	開催回数 8回 参加者数 延べ112人

事業名	健康相談
実施機関	熊谷市
現状・課題等	市民から相談に応じ必要な指導や助言等を行い、市民の健康づくりを推進する。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	市報等で周知し、市民からの相談に対し保健師・管理栄養士が必要な指導助言を行う。
【手順】	
○R3計画(目標)	相談者数 延べ400人
○R2実績	相談者数 延べ417人

事業名	歯と口の健康診査
実施機関	熊谷市
現状・課題等	歯周疾患の早期発見・治療や歯の喪失予防のために、知識の普及啓発と歯科健診受診率向上に努める。
○事業概要	
【対象】	40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳、75歳、80歳の市民
【方法】	市報、ホームページによる広報。対象者へ受診券を送付
【手順】	市内の歯科医療機関88か所で歯科健診を実施
○R3計画(目標)	受診率 7.4%
○R2実績	受診者数 845人 受診率 3.7%

事業名	高血圧予防教室
実施機関	熊谷市
現状・課題等	高血圧予防に関する知識の普及啓発に努める。
○事業概要	
【対象】	高血圧予防に関心のある市民
【方法】	市報・ホームページ等や前年度の特定健診の結果、血圧値が基準値を超えている方に案内通知などにより周知し、教室を年2回開催
【手順】	教室では、高血圧予防の講話、運動の実技指導を実施
○R3計画(目標)	
○R2実績	からだ見直し講座に再編

事業名	生命(いのち)の授業推進事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	がん教育の推進とがん検診受診率の向上に努める。
○事業概要	
【対象】	中学生及び小中学校PTA等
【方法】	がんについての正しい知識や命の大切さを伝える「生命(いのち)の授業」
【手順】	
○R3計画(目標)	中学生対象 全16校、PTA等対象 10回
○R2実績	中学生対象 全16校 1,740人+保護者、PTA等対象 4回 335人

事業名	食育推進セミナー
実施機関	熊谷市
現状・課題等	食育推進の担い手として、ボランティアを養成し、食を通じた市民の健康づくりを推進する。
○事業概要	
【対象】	食育に関心のある市民
【方法】	市報・ホームページ等により周知し、セミナーを開催(1コース3日間)
【手順】	セミナーでは、食育に関する講話、調理実習を実施
○R3計画(目標)	参加者数 延べ 30人
○R2実績	新型コロナウイルス感染症の影響により、開催中止

事業名	ウォーキングクラス
実施機関	熊谷市
現状・課題等	運動習慣の定着および身体活動量を図るとともに生活習慣病予防につなげることができるよう支援する。
○事業概要	
【対象】	市民(主治医による運動制限のない方)
【方法】	市報・ホームページ等により周知し、教室(運動指導)を開催(年4回)
【手順】	
○R3計画(目標)	参加者数 延べ 280人
○R2実績	開催回数 2回 参加者数 延べ 53人

事業名	特定健康診査等事業
実施機関	熊谷市(国民健康保険)
現状・課題等	健(検)診事業の円滑な実施に努め、効果的かつ効率的な各種保健サービスが利用できるように関係機関との連携を図り、また受診率が低いため、受診率向上に向けた対策が課題となっている。
○事業概要	
【対象】	国民健康保険加入者で40歳以上の方
【方法】	個別健診、特定保健指導該当者に対して動機付け支援、積極的支援を実施。
【手順】	該当者全員に受診券を郵送し、受診勧奨を行う。
○R3計画(目標)	・特定健康診査受診率50% ・特定保健指導実施率40%
○R2実績	・特定健康診査受診率28.9% ・特定保健指導実施率10.0%(令和3年8月末)

事業名	糖尿病性腎症重症化予防対策事業
実施機関	熊谷市(国民健康保険)
現状・課題等	糖尿病が重症化するリスクの高い者の人工透析への移行を防止し、国民健康保険被保険者の健康維持や医療費の適正化に資することを目的とする。
○事業概要	
【対象】	①受診勧奨対象者(未受診者・受診中断者) ・空腹時血糖126mg/dl(随時血糖200mg/dl)以上 又はHbA1c(NGSP)6.5%以上 ・eGFRが基準値(60ml/分/1.73㎡)未満 受診中断者については、最終受診日から6か月経過しても受診した記録のない者 ②保健指導対象者 病期が第2期、第3期及び第4期と思われる者でかかりつけ医の同意があった者
【方法】	受診勧奨対象者へは勧奨通知を送付し、保健指導対象者へは生活習慣改善支援プログラムの参加案内を送付する。
【手順】	
○R3計画(目標)	保健指導終了者数 40人
○R2実績	保健指導終了者数 28人

事業名	からだ見直し講座
実施機関	熊谷市
現状・課題等	自分の健康を自分で守れるように生活習慣改善・予防についての正しい知識の普及・啓発に努めるとともに、市の健康課題である血糖・血圧高値者の減少及び市民の健康の保持・増進を図ります。
○事業概要	
【対象】	生活習慣病改善・予防に関心のある市民
【方法】	市報・ホームページ等や前年度の特定健診の結果、HbA1c、血圧値が基準値を超えている方に案内通知などにより周知し、講座を年6回開催 講座では、健診結果の見方、運動・栄養に関する講話を実施 必要に応じて個別相談を実施
【手順】	
○R3計画(目標)	参加者数 120人
○R2実績	開催回数 4回 参加者数 延べ42人

事業名	妊婦歯科健康診査事業
実施機関	熊谷市
現状・課題等	妊娠期はつわりやホルモンバランスの変化により、むし歯や歯周病になりやすい。歯周病菌の増殖は胎児に悪影響を及ぼし早産や低体重児出産の原因となるため、歯周疾患の早期発見・早期治療を行い、歯と口の健康維持を図る。
○事業概要	
【対象】	妊婦
【方法】	妊婦届出時に、無料で1回受診できる受診券を交付
【手順】	市内の実施歯科医療機関で受診
○R3計画(目標)	受診率 40%
○R2実績	受診者数 448人 受診率 40%
* 令和元年 10月から実施	

事業名	各種健(検)診の実施及び受診勧奨
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	生活習慣病の予防やがんの早期発見・早期治療を図るため健(検)診を実施しており、ポスターの掲示、チラシの配布、個別通知等により勧奨しているが、受診率は伸び悩んでいる。
○事業概要	
【対象】	40歳以上の市民(胃・前立腺がんは50歳以上、子宮頸がんは20歳以上 乳がんは30歳以上)
【方法】	30歳代健康診査、健康増進法に基づく健康診査
【手順】	がん検診(胃・肺・大腸・前立腺・子宮頸・乳) 新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業 肝炎ウイルス検査 要精検者等への受診勧奨
○R3計画(目標)	30歳代健康診査 100回実施 健康増進法に基づく健康診査 100回実施 胃がん検診 83回実施+個別 肺がん検診 103回実施 大腸がん検診 103回実施 前立腺がん検診 103回実施 子宮頸がん検診 43回実施+個別 乳がん検診 43回実施+個別 肝炎ウイルス検査 103回実施
○R2実績	30歳代健康診査 100回実施 255人受診(受診率5.8%) 健康増進法に基づく健康診査 100回実施 16人受診 胃がん検診 86回実施+個別 2,543人受診(受診率14.9%) 肺がん検診 103回実施 7,599人受診(受診率17.0%) 大腸がん検診 103回実施 7,501人受診(受診率16.7%) 前立腺がん検診 103回実施 2,806人受診(受診率17.3%) 子宮頸がん検診 39回実施+個別 2,239人受診(受診率14.8%) 乳がん検診 39回実施+個別 2,633人受診(受診率18.3%) 肝炎ウイルス検査 103回実施 139人受診(受診率0.3%) ※子宮頸がん、乳がんは新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業の受診者数を含む ※がん検診結果統一集計による対象者を基準とした受診率

事業名	歯周病検診
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	成人期の歯の喪失原因である歯周病の早期発見を図り、適切な保健指導及び口腔衛生に関する正しい知識の普及をはかるため、歯周病検診を実施している。
○事業概要	
【対象】	節目検診(40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳に達するかた) 妊婦
【方法】 【手順】	対象者に周知し、委託歯科医院で歯科検診、歯科相談及び保健指導を実施し、定期的に歯科検診を受けるきっかけづくりとする。
○R3計画(目標)	節目検診 7月～R4年2月実施 妊婦検診 4月～R4年3月実施
○R2実績	節目検診 1,086人、妊婦検診 233人、計1,319人(助成金交付 19人含む)

事業名	ハイリスク健康教育
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	生活習慣病予備軍の方が、健診結果等により体の変化に気づき、自らの生活習慣を振り返り、セルフケア(自己管理)ができるようにすることを目的として実施するものであるが、働き盛り世代の方も多いため、ライフスタイルに応じて参加できるような事業の構築が必要である。
○事業概要	
【対象】	30歳代健康診査、健康増進法に基づく健康診査及び深谷市国民健康保険特定健康診査等において「保健指導」と判定された方、また高血糖や肥満等で生活習慣の見直しが必要な方
【方法】 【手順】	健康づくり支援アプリ事業、ふかや毎日プラス1000歩運動(コパトン健康マイレージ)事業を活用した生活習慣の改善支援。
○R3計画(目標)	24時間活用可能な「健康づくり支援アプリ」を活用した健康づくり事業、自分のペースで歩くことを実践できるよう「ふかや毎日プラス1000歩運動」の実施。
○R2実績	健康づくり支援アプリ150人、ふかや毎日プラス1000歩運動497人
○R1実績	参加者2人

事業名	骨粗しょう症検診・相談
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	骨密度測定を行うことにより、骨量減少の早期発見と早期治療を促進し、骨粗しょう症を予防していくための生活習慣の改善を図ることを目的として実施しているが、より受診が必要な壮年期の女性の受診率向上が課題である。
○事業概要	
【対象】	20歳以上の市民
【方法】 【手順】	骨密度測定(DXA法)および結果説明、保健師・管理栄養士による相談
○R3計画(目標)	骨粗しょう症検診・相談 3回実施
○R2実績	検診 365人、相談164人

事業名	深谷市健康マイレージ事業「ためるんピックふかや」
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	深谷市健康づくり推進条例および健康づくり計画に基づき、市民一人ひとりが健康で心豊かな生活を送れるよう、ヘルスプロモーションの理念のもと市全体で市民の健康づくりを支援し、健康なまちづくりを目指す。
○事業概要	
【対象】	20歳以上の在住、在勤、在学者
【方法】	健康づくりポイントカードをツールとし、各種健(検)診受診、協賛店の利用、登録事業への参加、自主的な健康づくりをポイント化。既定のポイント数を貯めて景品と交換。
【手順】	
○R3計画(目標)	・本事業の達成者数の増加 ・本事業に参加して健康に関する意識が高まった人の割合の増加
○R2実績	ポイント達成者数1,506人、事業協力団体数:登録事業団体40、協賛店95。 本事業に参加して健康に関する意識が高まった人の割合 97.5%(目標値90.0%)

事業名	ふかや毎日プラス1000歩運動
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	健康づくりのために「運動を実践する」市民を増やすため、歩くことを通した健康づくり事業を県コバトン健康マイレージ事業を活用して実施する。
○事業概要	
【対象】	20歳以上の在住、在勤、在学者
【方法】	ICTを活用したデータ転送機能付き歩数計を配付。普段より少し多く歩く市民を増やし、健康づくりへの効果及び市の健康課題等を検証する。県コバトン健康マイレージ事業の活用を継続。 (H28年度から開始事業)
【手順】	
○R3計画(目標)	ウォーキングや栄養講座を取り入れながら事業を継続。新規参加者を500名募集。
○R2実績	総参加者数:2,429人

事業名	各種健康教育・減塩教育事業・食育推進事業
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	自ら健康づくりに取り組む市民を増やすため、疾病予防および減塩に関する正しい知識の普及・啓発、食育の推進を図ることが必要である。特に重点的な課題を「プラス1000歩」「野菜ひと皿」「30代～50代」として継続的に取り組んでいく。
○事業概要	
【対象】	市民
【方法】	健康づくり応援店等の協働による健康づくり、健康づくり支援アプリ事業の導入、各種健康講演会・健康教育の実施、減塩教育、食育推進事業等の開催
【手順】	
○R3計画(目標)	市民、関係機関及び行政の協働による健康づくりと食育推進のための仕組みづくりと事業の実施。
○R2実績	<一般健康教育>開催回数64回、参加者2,078人 <食育推進事業>開催回数81回、参加者1,229人 ※新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を踏まえ、うえでの開催となった。



事業名	健康長寿計画の進行管理と評価
実施機関	寄居町
現状・課題等	健康長寿計画(健康増進計画・食育推進計画・自殺対策計画)が29年度に策定され、30年度より目標の実現に向けた取り組みを展開していく。
○事業概要	【対象】 【方法】健康長寿計画に掲げた 評価指標にそって事業評価を行う 【手順】評価指標に掲げられた項目について実績の把握を行う 健康づくり推進協議会を開催し、協議検討を行う
○R3計画(目標)	令和3年度の進行管理と評価を実施する。
○R2実績	新型コロナ感染拡大予防のため、健康づくり推進協議会が開催できず。

事業名	生活習慣病予防事業
実施機関	寄居町
現状・課題等	健康長寿景下No.1を目指した健康づくり事業の継続
○事業概要	【対象】20歳以上の住民 【方法】生活習慣病予防について普及啓発に努める 【手順】寄居プラス1000歩運動を継続実施するほか、スマイルポイント事業、ラジオ体操教室、栄養教室等を開催し、生活習慣病予防の普及に努める
○R3計画(目標)	・健康チェックの日 12回開催予定。
○R2実績	・健康チェックの日(6回、延べ123人参加) ・プラス1000歩事業 R2年度972人参加

事業名	歯科口腔保健推進事業
実施機関	寄居町
現状・課題等	健康長寿計画策定の際行った、住民アンケートでは「歯間ブラシや糸ようじを使う」「フッ化物入りの歯磨き剤を使用している」「よく噛んで食べる」「感触や甘いものを控えている」などの割合は2～3割と低い数値であった。
○事業概要	【対象】幼児とその保護者、20歳以上の住民 【方法】歯科口腔保健、歯科疾患予防の普及啓発に努める 【手順】歯科イベントの実施。幼児を対象とした事業の中で、口腔ケアの重要性等を普及啓発する。
○R3計画(目標)	歯科イベントを実施予定。
○R2実績	新型コロナ感染拡大予防のため、歯科イベントを実施せず。

#### 【本庄保健所管内】

事業名	地域職域連携推進事業(保健指導実務者研修会等の開催)及びデータヘルス推進事業
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	データヘルス計画は管内市町策定済み、施行中。同計画を効果的に活用して、特定健康診査・特定保健指導等保健事業を実施。生活習慣病の重症化予防や住民の健康寿命の延伸を図る。特定健診受診率及び保健指導実施率の目標達成が課題。研修会は、感染予防のため従来方法困難、感染症対応保健所業務ひっ迫のため開催困難。
○事業概要	【対象】市町特定健診他保健事業担当者、事業所等健康管理部門担当 【方法】研修会及びロールプレイング他 【手順】健康課題分析で優先課題を見出し、効果的な行動変容を促す手法を学ぶ。
○R3計画(目標)	管内だけでなく広域での研修を通じ、市町の保健部門、国保部門との健康課題の共有、効果的な保健事業の実施、事業の評価方法について学ぶ。介護保険一体化も合わせて支援する。
○R2実績	1 データヘルス計画・介護予防一体化に係る研修会 3回 保健所業務ひっ迫の為、例年の共催ではなく参加支援となった 2 市町健康増進計画関連評価策定会議(書面会議含む) 8回参加 3 糖尿病重症化予防圏域会議 2月書面開催・3月情報提供

事業名	食育推進事業
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	若年期からの生活習慣病予防について情報提供していく。働き盛り世代には、生活習慣病予防や重症化予防をアプローチする機会が得られにくい。研修会は、感染予防のため従来方法困難、感染症対応保健所業務ひっ迫のため開催困難。
○事業概要	
【対象】	保育園の栄養士、保育士や学生
【方法】	講義形式の研修会や調理実習、グループワーク
【手順】	食育事例等の紹介や情報交換、実習を通じて具体的方法を学ぶ。
○R3計画(目標)	食や健康に関する正しい知識を習得する。
○R2実績	1 食育研修会 3回 83人参加 2 健康長寿サポーター養成講座 2回 29人参加

事業名	歯科口腔保健連携会議及び摂食嚥下研修会
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	高齢化社会において健康な生活を送るため、また、管内75歳以上死因割合が2番目に高い肺炎の予防のため、口腔ケアの重要性の周知及び支援が必要である。地域在宅歯科医療推進拠点の効果的な活用を目指す。会議・研修会は、感染予防のため従来方法困難、感染症対応保健所業務ひっ迫のため開催困難。
○事業概要	
【対象】	管内市町、歯科医師会、歯科衛生士会、高齢者福祉・介護関係者
【方法】	歯・口腔の健康管理をテーマにした協議及び研修
【手順】	関係機関による情報交換、課題検討及び研修を行う。
○R3計画(目標)	口腔ケアが必要な住民に提供できるよう会議や研修会を通じて関係機関が顔の見える連携づくりをする。
○R2実績	1 市町健康増進連携計画(歯科口腔保健計画含む)評価・策定会議 8回参加 肺炎予防・介護予防のための口腔ケア協議 (保健所歯科口腔保健連携会議 コロナ禍の児童生徒の口腔ケア協議 11月13日 歯科医師、学校保健関係職員他 17人参加 ) 2 摂食・嚥下に配慮した食事の提供を学ぶ研修会 北部ブロック開催中止

事業名	特定健康診査・特定保健指導 生活習慣改善教室(ステップアップ教室) がん検診受診勧奨・がん予防のための情報提供 健康づくりに関する各種教室
実施機関	本庄市
現状・課題等	特定健康診査やがん検診等の受診率を向上させるための取り組みの検討を行う。また、市民自ら生活習慣病予防の知識を習得し健康づくりに取り組めるよう、教室等を通して周知・啓発に努める。
○事業概要	
【事業名】	特定健康診査・特定保健指導
【対象】	40歳以上の国保加入者
【方法】	国のマニュアルによる。
【手順】	対象者抽出・広報及び対象者へ通知・健診実施(集団・個別)・評価
○R3計画(目標)	健診受診率、保健指導率の向上
○R2実績	推移 H30→R2 特定健康診査:受診者数 4,655人→3,720人、受診率 31.6%→26.7% 特定保健指導:実施者 222人→217人 ※緊急事態宣言下における感染拡大予防策のため、R2.5月～6月まで実施を見合わせ、7月から再開
【事業名】	生活習慣改善教室(ステップアップ教室)
【対象】	特定健診受診者のうち保健指導が必要な方
【方法】	運動実技・健康相談等
【手順】	計画・対象者抽出・教室参加勧奨・実施・評価
○R3計画(目標)	参加者数の増加。対象者に適切な保健指導を行い、生活習慣の改善を図る。
○R2実績	実施回数:8回 参加延人数:87人

【事業名】	がん検診受診勧奨・がん予防のための情報提供
【対象】	対象年齢の市民等
【方法】	前年度のがん検診受診者と20～39歳までの隔年、40～65歳、70歳、73歳に、受診券及び検診案内を送付。市広報・ホームページで告知。リーフレット配布。乳がん触知モデル展示による自己検診法の紹介等。
【手順】	
○R3計画(目標)	受診率の向上。および、がんの早期発見や予防についての周知・啓発を図る。
○R2実績	受診率の推移(H30年度→R2年度) 胃がん 13.7%→9.2% 前立腺がん 26.6%→21.1% 肺がん 18.4%→15.0% 大腸がん 18.7%→17.0% 子宮頸がん 24.6%→25.8% 乳がん 23.2%→21.7% ※緊急事態宣言下における感染拡大予防策のため、R2.5月～6月まで実施を見合わせ、7月から再開
【事業名】	健康づくりに関する各種教室
【対象】	おおむね40歳以上の市民
【方法】	講話・運動実技・血圧、体重測定・体力測定・調理実習等
【手順】	計画・告知・参加者募集・実施・評価
○R3計画(目標)	参加者数の増加。参加者が生活習慣を見直し、行動目標を設定し実践する。
○R2実績	計 124回 参加延人数:2,443人

事業名	乳幼児健診・健康相談における歯科健診・保健指導及び幼児個別歯科健診、歯周疾患検診
実施機関	本庄市
現状・課題等	・乳幼児期からの歯科口腔保健への取り組みの継続。 ・歯周病予防の推進を図るため個別歯周疾患検診(節目検診)を実施。受診者数を伸ばすための取り組みについて検討。
○事業概要	
【事業名】	乳幼児健診・健康相談における歯科健診・保健指導及び幼児個別歯科健診
【対象】	(乳幼児健診)1歳6ヶ月児・2歳児・3歳児と保護者 (個別)3歳6ヶ月児・4歳児とその保護者
【方法】	(乳幼児健診)歯科健診(2歳児を除く)、ブラッシング指導、フッ素塗布(1歳6ヶ月・3歳児) (個別)歯科健診、フッ素塗布
【手順】	広報・対象者への通知・実施・評価
○R3計画(目標)	う蝕のある児の総数および一人あたりのう蝕歯数の減少
○R2実績	歯科健診の受診者数および、う蝕歯保有率(H30→R2)の推移 1.6歳児 464人 0.2%→0.9% 2歳児 159人 3歳児 217人 9.8%→9.7% 幼児個別歯科 91人 ※緊急事態宣言下における感染拡大予防策のため、下記のとおり実施 1.6歳児・幼児個別歯科:R2.4月～6月まで実施を見合わせ、R2.7月から再開 2歳児・3歳児:R2.4月～11月まで実施を見合わせ、R2.12月から再開
【事業名】	歯周疾患検診
【対象】	40・45・50・55・60・65・70・73歳の市民
【方法】	個別検診
【手順】	検診通知同封物や広報、HP等での周知及びポスターの掲示・実施・集計及び評価
○R3計画(目標)	検診受診者数の増加
○R2実績	検診受診者数の推移(H30年度→R2年度) 485人→351人 ※緊急事態宣言下における感染拡大予防策のため、R2.5月～6月まで実施を見合わせ、7月から再開

事業名	ミムリン健幸ポイント事業
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	参加者数については、人口の約22%と高い状況だが、参加者の歩数が伸び悩んでいる。
○事業概要	
【対象】	20歳以上の町民
【方法】	①歩数計で参加。 ②歩数・特定健診・がん検診等、高齢者いきいき事業・イベント等に参加することでポイント付与される。 ③ポイントは「みさと元気チケット」と交換
【手順】	①4月1日から参加者募集 ②ポイント付与期間：令和2年4月から令和3年3月 ③ポイント交換：翌年度500ポイントを単位とし、500ポイントごとに500円分の「みさと元気チケット」と交換。交換できるポイントの上限は5,000ポイント。郵送により、景品を贈呈。
○R3計画(目標)	健康維持及び体力向上、生活習慣病予防を促進することにより、健康寿命の延伸と国保医療費の抑制を図る。
○R2実績	参加人数：2,911人

事業名	がん検診等の受診勧奨・再勧奨及び精検未受診者勧奨、がん予防についての情報提供 特定健診とがん検診等の同時実施 特定健診受診勧奨及び特定保健指導 食生活改善事業
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	各がん検診・特定健診の受診率は、年々向上している。 若い世代の受診率が低い。
○事業概要	
【事業名】	がん検診等の受診勧奨・再勧奨
【対象】	がん検診等対象者
【方法】	①各種がん検診・骨粗鬆症検診対象者すべての方に、受診券及び案内を個別通知する。 ②広報等による検診のPR ③40歳から69歳(子宮頸がんは20歳)の国保の方でがん検診未受診者に再勧奨通知を個別に送付する。
【手順】	①4月下旬に個別通知送付 ②広報・お知らせ版随時掲載 ③2月上旬に再勧奨通知を個別に送付
○R3計画(目標)	受診率の向上
○R2実績	受診率 大腸がん：16.3% 肺がん：12.1% 子宮頸がん：15.9% 乳がん：17.9%
【事業名】	精検未受診者勧奨
【対象】	各がん検診精密検査未受診者
【方法】	再勧奨通知を個別に送付する。
【手順】	3月上旬、次年度7月上旬に個別通知送付
○R3計画(目標)	精検受診率の向上
○R2実績	精検受診率 大腸がん：72.2% 肺がん：100% 子宮頸がん：75% 乳がん：89.3%

【事業名】	がん予防についての情報提供
【対象】	町民
【方法】	乳がん検診時に、乳がん触診モデルを展示し、実際に触れてもらう。(コロナウイルス感染症の影響により中止)
【手順】	
○R3計画(目標)	がんについての情報提供を行い、各がん検診の受診率の向上をねらう。
○R2実績	乳がん検診時に、乳がん触診モデルを展示し、実際に触れてもらった。
【事業名】	特定健診とがん検診等の同時実施
【対象】	各検診対象者
【方法】	特定健診時に、肺がん・大腸がん検診・肝炎ウイルス検診・風しん抗体検査を同時実施 乳がん・骨粗鬆症検診を同時実施
【手順】	
○R3計画(目標)	受診率の向上
○R2実績	特定健診時に、肺がん・大腸がん検診を同時実施 乳がん・骨粗鬆症検診を同時実施
【事業名】	特定健診受診勧奨
【対象】	40～74歳国民健康保険加入者
【方法】	通知及び電話勧奨
【手順】	①対象者全員に個別通知を送付(集団健診) ②集団健診未受診者へ個別健診の案内及び勧奨通知を送付 特性に応じて勧奨通知の内容を変更 ③勧奨通知送付後、年代等を絞り電話での受診勧奨を実施 40代未受診者
○R3計画(目標)	受診率30.6%
○R2実績	受診率27.1%
【事業名】	特定保健指導
【対象】	特定健診受診者で、動機づけ支援・積極的支援が必要とされた者
【方法】	集団指導・個別指導
【手順】	指導対象者に保健指導を実施。
○R3計画(目標)	特定保健指導率57% 自らの健康状態に関心を持ち、自らの健康状態を把握する。生活習慣を改善し、その状態を維持していくことができる。
○R2実績	特定保健指導率53.9%
【事業名】	食生活改善事業
【対象】	食生活改善推進員連絡協議会会員
【方法】	①調理実習時に、管理栄養士による生活習慣病・食育等の講話 中止 ②調理実習時に、体重測定・血圧測定の実施 中止 ③塩分計を貸し出し、自分自身の家庭の塩分濃度を測定してもらう。 中止
【手順】	定例会(コロナウイルス感染症の影響により、管理栄養士による生活習慣病、食育等の講和のみ実施) 3グループ×3回=9回実施
○R3計画(目標)	生活習慣病や食育等についての知識を高め、健康づくりの知識普及啓発及びボランティア育成
○R2実績	実施回数:9回 参加人数:延113人

事業名	減塩チャレンジ 生活習慣病予防訪問指導事業 健康相談 結果説明会及び個別相談 生活習慣病予防のための情報提供 生活習慣病予防事業
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	町では、脳血管疾患・糖尿病の方が増加傾向にある。
○事業概要	
【事業名】	減塩チャレンジ
【対象】	20歳以上の町民の方
【方法】	塩分摂取量減量の動機付け、バランスの良い食事作りの推奨、適量飲酒の啓発をすることを目的として開催。 コロナ禍でも「おうちでできる健康づくり」を実施
【手順】	参加者に3か月間塩分計を貸与し、家庭の汁物の塩分測定と事業の初期と後期に1日塩分摂取推定量の尿検査を実施し、減塩が見える化し意識付けをし、アンケート等で評価をする。
○R3計画(目標)	減塩や生活習慣病についての普及啓発を継続
○R2実績	実施回数:5回 参加人数:延93人
【事業名】	生活習慣病予防訪問指導事業
【対象】	特定健診実施後、血圧値が要医療で服薬なしの方
【方法】	訪問指導
【手順】	特定健診後、対象者抽出し、案内を送付。初回訪問で事業参加の有無を確認。参加者には3か月に1回程度訪問指導を実施。対象者には、体組成計・血圧計・塩分計を貸与し、記録を毎日つけてもらう。併せて、尿検査による1日推定塩分摂取量測定を参加前後で実施する。
○R3計画(目標)	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、家庭での健康管理に役立たせる。
○R2実績	事業該当者:40人 実施者数(実):11人 参加率27.5%
【事業名】	健康相談
【対象】	全住民
【方法】	保健師・管理栄養士による健康相談(電話・来所・訪問)
【手順】	随時受付
○R3計画(目標)	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、生活習慣の改善を図る。
○R2実績	実施人数:40人
【事業名】	結果説明会及び個別相談
【対象】	特定健診・後期高齢者医療健診受診者
【方法】	保健師・管理栄養士による個別相談
【手順】	
○R3計画(目標)	健診結果から自分の身体の状態を知り、生活を振り返ることで生活習慣病予防に生かすことができるように促す。
○R2実績	実施人数:6人
【事業名】	生活習慣病予防のための情報提供
【対象】	全町民
【方法】	広報誌に生活習慣病予防のための情報を毎月掲載
【手順】	
○R3計画(目標)	生活習慣病についての知識を高め、健康づくりの知識を普及・啓発する。
○R2実績	広報誌に月1回掲載
【事業名】	生活習慣病予防事業
【対象】	特定健診実施後、HbA1c値が要医療で服薬なしの方
【方法】	講演会及び個別指導
【手順】	高血糖を起因とする脳血管疾患や心疾患、慢性腎臓病などの発症リスクがある人に対し、医療機関への受診勧奨をする。また、ポピュレーションアプローチとして生活習慣改善講座を実施し糖尿病に関する正しい知識の普及・啓発を図る。
○R3計画(目標)	健康に関する個別の相談に応じ、必要な指導や助言を行い、家庭での健康管理に役立たせる。
○R2実績	講座対象者:47人 参加者数:12人 参加率25.5% 受診勧奨対象者:47人 参加者数:7人 参加率14.9%

事業名	<b>幼児歯科健診</b> <b>1歳6ヶ月児健診・3歳児健診</b> <b>歯周疾患検診</b> <b>妊婦歯科健診</b> <b>歯科講演会(子供向け及び大人向け)</b> <b>「8020運動よい歯のコンクール」表彰</b>
実施機関	美里町保健センター
現状・課題等	5歳になるとう蝕のある児が多くなって来る。
○事業概要	
【事業名】	幼児歯科健診
【対象】	2歳児、2歳6ヶ月児、5歳児とその保護者
【方法】	①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導(コロナウイルス感染症の影響により中止)、歯科相談等 ③フッ素塗布
【手順】	2歳児・2歳6ヶ月児(同日実施):年4回(令和2年度は新型コロナウイルス、5歳児:年4回実施)
○R3計画(目標)	幼児のう蝕の減少
○R2実績	<受診率> 2歳児:87.5% 2.6歳児:85.0% 5歳児:85.8% <う蝕のない児の割合> 2歳児:100.0% 2.6歳児:96.1% 5歳児:73.2%
【事業名】	1歳6ヶ月児健診・3歳児健診
【対象】	1歳6ヶ月児・3歳児とその保護者
【方法】	<<1歳6ヶ月児>> ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導(コロナウイルス感染症の影響により中止)、歯科相談等 ③フッ素塗布 <<3歳児健診>> ①歯科医師による歯科健診 ②歯科衛生士によるブラッシング指導(コロナウイルス感染症の影響により中止)、歯科相談等
【手順】	各健診4回実施
○R3計画(目標)	受診率の向上
○R2実績	<受診率> 1.6歳児:93.7% 3歳児:90.4% <う蝕のない児の割合> 1.6歳児:100.0% 3歳児:87.9%
【事業名】	歯周疾患検診
【対象】	集団健診:40歳以上の町民(コロナウイルス感染症の影響により中止) 個別健診:40・45・50・55・60・65・70歳及び75歳以上
【方法】	歯周病疾患等の検査、歯科衛生士による歯科相談・指導
【手順】	集団健診:特定健診時に10日間実施(コロナウイルス感染症の影響により中止) 個別健診:9月～3月実施
○R3計画(目標)	成人及び高齢者の歯周疾患予防
○R2実績	受診者数 集団:0人 個別:208人
【事業名】	妊婦歯科健診
【対象】	町内に住所を有し、町長に妊娠の届出をした妊婦、及び他市町村で母子健康手帳の交付を受け、町内の住所に住所変更の届出をした妊婦
【方法】	歯科健診、健診結果の説明、歯科保健指導
【手順】	出産の前日までに受診
○R3計画(目標)	むし歯や歯周疾患にかかりやすい時期にある妊婦に対し、歯科健診を実施することにより、妊婦と生まれてくる子の予防歯科への意識を高め、口腔衛生の向上を図る。
○R2実績	受診者数:7人

【事業名】	歯科講演会(子供向け及び大人向け)
【対象】	子供向け:0~3歳までのお子さんと保護者(町内在住) 大人向け:全住民
【方法】	知識の習得
【手順】	講演会の実施
○R3計画(目標)	歯と口腔の健康づくりについて、普及啓発を図る。
○R2実績	中止
【事業名】	「8020運動よい歯のコンクール」表彰
【対象】	80歳以上で自分の歯が20本以上ある方
【方法】	町の歯周疾患検診を受診
【手順】	表彰式の開催
○R2計画(目標)	歯の健康に対する意識の向上を図り、あわせて健康の保持増進を図る。
○R1実績	表彰者:8人

事業名	シニア健康あつぷ塾 年2クール実施(口腔機能向上プログラムとして)
実施機関	美里町地域包括支援センター
現状・課題等	運動機能向上の取り組みを行なう上で、口腔機能向上の要素も欠かせない。 お口の健康を保つことが全身の健康につながることを学ぶ。
○事業概要	
【対象】	65歳以上の高齢者で、基本チェックリストで該当となった方
【方法】	①第1日目 ・講義(お口の働き、お口の健康度チェック、嚥下の仕組み) ・フードテスト ・口腔体操(唾液腺マッサージ、舌体操、パタカラ、歌に合わせた口腔体操 ほか) ②第2日目 ・口腔体操復習(歌に合わせた口腔体操 ⇒ バラが咲いた、線路は続くよどこまでも) ・講義(噛むことの大切さ、唾液の働きと舌の動き、感染予防(誤飲性肺炎、歯周病)、病気との関わり) ・正しい磨き方(歯の磨き方の実習、義歯の手入れの仕方) ※歯ブラシ、歯間ブラシ、フロス、舌ブラシ、義歯ブラシのセットを無償配布
【手順】	シニア健康あつぷ塾全13コマのうち、口腔機能向上プログラムとして2コマ実施。
○R3計画(目標)	シニア健康あつぷ塾において、口腔機能向上プログラムを実施 年2クール(各1コマ) 「めざせ健康(健口)長寿! 楽しく・おいしくフレイル予防!」
○R2実績	シニア健康あつぷ塾 ・第1クール 中止 ・第2クール 4名



事業名	マタニティカフェ(年2回実施) 妊婦歯科個別検診 乳幼児健診における歯科相談・歯磨き指導 成人歯科個別検診 8020運動 地域支援事業(年19回実施予定)『介護予防10教室で各2回』
実施機関	神川町
現状・課題等	・ライフステージに沿った歯科保健サービス体制の構築 ・歯科保健事業の充実及び歯科検診受診率の向上を目指す。
○事業概要	
【事業名】	マタニティカフェ(年2回実施)
【対象】	妊婦と配偶者
【方法】	歯科医師による歯科検診と講話及び唾液検査。助産師による何でも相談。
【手順】	同上
○R3計画(目標)	・妊娠中の口腔内を健やかに保つとともに、生まれてくる子や家族の歯の健康づくりにつ
○R2実績	コロナ禍のため2回中止
【事業名】	妊婦歯科個別検診
【対象】	妊婦
【方法】	町の指定歯科医院で、歯や歯肉の状態、歯石などの口腔内の診察
【手順】	歯科医院へ予約し受診
○R3計画(目標)	・参加率の目標30%
○R2実績	7名受診
【事業名】	乳幼児健診における歯科相談・歯磨き指導
【対象】	6か月、1歳、1歳6か月、2歳、3歳児及び保護者
【方法】	歯科衛生士によるブラッシング指導等
【手順】	健診に来た人全員に実施
○R3計画(目標)	むし歯のない子の割合 目標: ・1歳6か月児健診100% ・2歳児歯科検診 98% ・3歳児健診 90%
○R2実績	受診率 1歳6か月児健診100%、2歳児歯科検診100%、3歳児健診100%
【事業名】	成人歯科個別検診
【対象】	30歳から80歳までの5歳刻みの方
【方法】	町の指定歯科医院で、歯や歯肉の状態、歯石などの口腔内の診察
【手順】	歯科医院へ予約し受診
○R3計画(目標)	自分や家族の口腔の状態に関心を持ち、口腔ケアを実践する人が増える。
○R2実績	7名受診
【事業名】	8020運動
【対象】	80歳以上で自分の歯が20本以上ある方
【方法】	表彰状および記念品の贈呈(本庄市児玉郡歯科医師会と共催)
【手順】	歯科検診により抽出又は町内歯科医師からの推薦、本人に連絡
○R3計画(目標)	歯の喪失を防ぎ、よく噛める歯と口腔衛生を保ち、笑顔でいきいき過ごすことができる。
○R2実績	6名表彰
【事業名】	地域支援事業(年19回実施予定)『介護予防10教室で各2回』
【対象】	一般介護予防事業対象者
【方法】	衛生士による口腔指導・相談、口腔体操
【手順】	集団指導
○R3計画(目標)	口腔健康の意義への理解
○R2実績	コロナ禍により中止

事業名	健康相談 毎日1万歩運動 ウォーキング教室の開催 健康チャレンジ教室(国保事業) 地域健康づくり出前講座 食生活改善推進協議会活動の充実 親子料理教室 子ども農園
実施機関	神川町
現状・課題等	・健康増進の重要性について住民全体の共有化を図るとともに、ライフステージごとの効果的な生活習慣病予防対策事業を実施していく。 ・町民の生活習慣の改善に繋がる魅力ある事業展開 ・食生活改善推進協議会の活動充実
○事業概要	
【事業名】	健康相談
【対象】	全町民
【方法】	保健師による健康相談を実施(毎週水曜日午前中)
【手順】	広報、町HP等で周知
○R3計画(目標)	町民一人ひとりが正しい生活習慣を身に付け、QOLの向上を図り、生き甲斐を感じながら生涯いきいきと暮らせることを目指します。(健康増進計画の目標より)
○R2実績	コロナ禍により中止
【事業名】	毎日1万歩運動
【対象】	20～74歳の住民(300名定員)
【方法】	・タニタに委託して実施 ・活動量計(万歩計)をつけて、毎日1万歩を目標にウォーキング ・月1回タニタへデータ送信する。 ・体力測定などで評価
【手順】	①各自ウォーキング ②歩数イベント・かわら版(支援レター)等でモチベーションを維持 ③体力測定・アンケートで成果の確認 ④埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加
○R3計画(目標)	参加者300名
○R2実績	参加者254名
【事業名】	ウォーキング教室の開催
【対象】	40歳～79歳までの約20名
【方法】	5月から3月まで11回、健康運動指導士による教室を開催。
【手順】	募集－実施－検証
○R3計画(目標)	参加申込数30名
○R2実績	延参加者数167名(R2はコロナ禍により教室9回と体操動画の配信を行った。)
【事業名】	健康チャレンジ教室(国保事業)
【対象】	40～65歳までの町民、運動制限のない方
【方法】	保健師、管理栄養士、スポーツケアトレーナーにより年24回実施
【手順】	講話と運動。見込延べ人数300人
○R3計画(目標)	延参加者数350名
○R2実績	16回実施、延参加者152名。その他、リモートにて4回開催、延15人参加
【事業名】	地域健康づくり出前講座
【対象】	全町民
【方法】	保健師等が地域に出向き健康づくり講座を実施
【手順】	募集・日程調整・実施
○R3計画(目標)	地域ぐるみでの健康づくり講座の実施
○R2実績	コロナ禍により依頼なし
【事業名】	食生活改善推進協議会活動の充実
【対象】	全町民
【方法】	食生活を通じた健康づくり事業の展開
【手順】	食育の推進、生活習慣病の予防及び食生活改善の推進
○R3計画(目標)	地域に根ざした食生活改善推進活動の実施
○R2実績	定例会3回実施、延参加者数30名

【事業名】	親子料理教室
【対象】	小学校3年生から6年生の児童と保護者
【方法】	食生活改善推進員が中心となり調理実習と講話を実施。
【手順】	募集・調理実習・保護者の講話
○R3計画(目標)	子どもが料理することを楽しみ、一人で料理ができることを目指す。
○R2実績	コロナ禍により中止。代替で(各小学校5.6年生に親子の食育教室(教材)を食改の方が配布)
【事業名】	子ども農園
【対象】	3歳～小学生の親子
【方法】	栽培から収穫、調理までの一連の流れを経験してもらうことで、子どもたちの「食べる力」を育む。
【手順】	募集・種まき・収穫・調理を体験する。
○R3計画(目標)	親子や家族とのかかわり、仲間や地域とのかかわりを深め、子どもの健やかな心身の発達を促す。
○R2実績	4回実施、実17組参加、延参加者数97名

事業名	特定健診 特定保健指導 健診結果説明 重症化予防のための個別訪問 生活習慣病重症化予防対策事業(埼玉県・国保連合会との共同事業)
実施機関	神川町
現状・課題等	・県の示す標準化死亡率(SMR)において、男女とも脳梗塞の数値が県内でも高く、当町では今だ150を越える高い値を示している。 ・特定健診・特定保健指導の受診率の向上
○事業概要	
【事業名】	特定健診
【対象】	国保加入者(40～74歳)
【方法】	集団健診、個別健診、人間ドック等
【手順】	受診勧奨・実施・評価
○R3計画(目標)	特定健診受診率 44%(データヘルス計画より)
○R2実績	特定健診受診率 23.4%

【事業名】	特定保健指導
【対象】	40歳～74歳の国保加入者等及び受診者の中で指導の必要な方
【方法】	保健師や管理栄養士により訪問による初回面接を行い、6ヶ月間継続できる生活習慣病予防の目標を立て、その成果に基づき評価を行う。
【手順】	計画・対象者抽出・実施・評価
○R3計画(目標)	対象者に対し、適切な保健指導を行い、生活習慣の改善を図る。 特定保健指導実施率60%(データヘルス計画より)
○R2実績	特定保健指導実施率 83.0%
【事業名】	健診結果説明
【対象】	特定健診受診者(後期高齢者も含む)
【方法】	保健師・管理栄養士による個別相談を2会場2日間(午前・午後)実施
【手順】	計画・実施・評価
○R3計画(目標)	2日間実施 その他電話相談に対応
○R2実績	コロナ禍により中止
【事業名】	重症化予防のための個別訪問
【対象】	特定健診の受診者のうち、血圧・血糖・腎機能の数値が心配な方
【方法】	保健師と管理栄養士による個別訪問・指導を実施
【手順】	計画・実施・評価
○R3計画(目標)	保健師・管理栄養士による訪問指導
○R2実績	10名個別訪問し受診勧奨を実施
【事業名】	生活習慣病重症化予防対策事業 (埼玉県・国保連合会との共同事業)
【対象】	①特定健診受診者のうち、血糖・腎機能の数値が基準以上の方 ②糖尿病性腎症の病期がⅡ～Ⅳ期の方で医師が認めたもの
【方法】	①医療未受診者・中断者への通知・電話による受診勧奨 ②糖尿病性腎症で通院する患者への保健指導
【手順】	計画・委託・実施・評価
○R3計画(目標)	NTTデータへ委託し保健指導・受診勧奨を実施
○R2実績	保健指導参加 0名

事業名	がん検診受診勧奨啓発 がん検診等検診費用の無料化 がん検診推進事業の実施 がん検診等ポイントカード配布事業
実施機関	神川町
現状・課題等	がん検診の若年層の受診率向上
○事業概要	
【事業名】	がん検診受診勧奨啓発
【対象】	全町民
【方法】	町内各種団体の会議、事業時に啓発チラシ配布
【手順】	広報や回覧等で周知。のぼり旗の設置。各種団体の会議等でチラシの配布。成人式で子宮頸がん検診のチラシ配布。町内幼稚園及び保育所にチラシを配布し受診勧奨。
○R3計画(目標)	がん検診受診率向上
○R2実績	胃6.8%、大腸16.9%、子宮頸7.8%、乳17.4%、肺中止

【事業名】	がん検診等検診費用の無料化
【対象】	全町民
【方法】	町実施のがん検診等すべての検診の自己負担金を無料とする。
【手順】	広報・個人通知等にて周知するとともに、がん検診等の受診勧奨を行う。
○R3計画(目標)	がん検診受診率向上
○R2実績	胃6.8%、大腸16.9%、子宮頸7.8%、乳17.4%、肺中止
【事業名】	がん検診推進事業の実施
【対象】	・子宮頸がん検診:21歳 ・乳がん検診:41歳
【方法】	受診無料クーポン券配布し受診勧奨
【手順】	対象者抽出・クーポン券発送・受診・支払い・国へ申請
○R3計画(目標)	がん健診の受診率向上及び未受診者の受診率向上
○R2実績	子宮頸 対象80名 受診0名 受診率0% 乳 対象69名 受診9名 受診率13.0%
【事業名】	がん検診等ポイントカード配布事業
【対象】	全町民
【方法】	がん検診やその他の検診及び教室等に参加することでポイントのため、男性30ポイント、女性40ポイントが貯まった方に粗品を進呈する。
【手順】	ポイントカード配布・押印・確認・粗品進呈(500円相当)
○R3計画(目標)	受診率向上
○R2実績	引き換え者 395名

事業名	健康課題分析事業の実施及び保健指導等に関する研修会への参加
実施機関	神川町
現状・課題等	保健統計及び健診結果、医療費等の分析を行い、神川町の現状と課題に即した疾病予防対策を実施。また、研修を重ねて保健師等の資質向上を図る。
○事業概要	
【対象】	保健師、看護師、管理栄養士等
【方法】	健診データ・レセプト分析等により健康対策、疾病予防対策立案
【手順】	隔月ごとに町広報に認知症予防のための正しい知識、啓発の記事及び簡単な料理のレシピを掲載
○R3計画(目標)	町の健康課題の分析、年度中に町長へ報告予定
○R2実績	12月に町長へ報告

事業名	1 検診費用無料化 2 がん検診受診勧奨 3 がん検診啓発事業 4 がん検診推進事業
実施機関	上里町
現状・課題等	がん検診受診率の向上が必要
○事業概要	
【事業名】	1 検診費用無料化
【対象】	がん検診受診者
【方法】	平成30年度より、がん検診の自己負担がすべて無料となる。
【手順】	健康ガイドブック、広報、ホームページ、個別の受診勧奨等で周知
○R3計画(目標)	全がん検診受診率の向上 目標:50% 令和3年度も引き続き検診費用無料とする。
○R2実績	計画どおり実施。

【事業名】	2 がん検診受診勧奨
【対象】	以下のとおり
【方法】	1)40歳男女に健康増進事業の紹介も含めて、個別の受診勧奨を実施 2)30.35歳女性に子宮頸がん個別検診受診券付勧奨文を個別通知 3)幼児健診受診時に保護者へ子宮頸がん検診受診勧奨チラシ配布 4)「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」を活用した個別の受診勧奨、再勧奨を実施。51～59歳(55歳除く)の国民健康保険加入者で5がん検診を申込みしていない者へ受診勧奨し、同年齢の者へ大腸がん検診の受診再勧奨を実施。また、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳女性へ乳がん検診の再勧奨を実施。 5)各世帯ごとに申込書を配布(健康ガイドブック) 6)広報、ホームページなどで周知
【手順】	がん検診申込開始時に対象年齢の方に受診勧奨をし、秋ごろに再勧奨実施。
○R3計画(目標)	全がん検診受診率の向上 目標:50% 受診勧奨は以下のとおりに実施する。新型コロナウイルス感染症により、年度当初の受診勧奨を行う際には、緊急事態宣言解除後の受診をお願いする通知も同封している。集団検診については中止や規模縮小での実施となっているため、集団検診への受診勧奨は行わない。 1)40歳男女に健康増進事業の紹介も含めて、個別の受診勧奨を実施 2)30.35歳女性に子宮頸がん個別検診受診券付勧奨文を個別通知 3)幼児健診受診時に保護者へ子宮頸がん検診受診勧奨チラシ配布 4)「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」を活用した個別の受診勧奨、再勧奨を実施。51～59歳(55歳除く)の国民健康保険加入者で5がん検診を申込みしていない者へ受診勧奨し、同年齢の者へ大腸がん検診の受診再勧奨を実施。また、40歳・45歳・50歳・55歳・60歳・65歳女性へ乳がん検診の再勧奨を実施。 5)各世帯ごとに申込書を配布(健康ガイドブック) 6)広報、ホームページなどで周知
○R2実績	新型コロナウイルス感染症対策のため4)の5がん検診受診勧奨は実施せず。そのため大腸がん検診は再勧奨ではなく、圧着はがきによる受診勧奨を実施。乳がん検診は55・60・65歳へ対象者を拡大し圧着はがきによる受診勧奨を実施した。
【事業名】	3 がん検診啓発事業
【対象】	全町民
【方法】	①「めざせ、受診率50%」のロゴの活用(庁用車にマグネットで貼付、センター内にのぼり旗の常設)②がん予防教室
【手順】	②については男女共同参画推進センターと共同実施
○R3計画(目標)	全がん検診受診率の向上 目標:50% がん予防教室は新型コロナウイルス感染症対策のため中止とし、今後の啓発事業の実施方法を検討する。
○R2実績	①を実施。②は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から中止となった。
【事業名】	4 がん検診推進事業
【対象】	以下のとおり
【方法】	国の「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」の活用により、①個別の受診勧奨・再勧奨②精密検査受診勧奨を行う。①については「2 がん検診受診勧奨」により実施。②については5がん検診受診者で要精密検査となった方のうち、精検受診結果が確認できない方に対して受診勧奨と受診結果確認を兼ねた通知文を個別に郵送する。
【手順】	①は5月、10月ごろを目途に実施、②は1月ごろより実施。
○R3計画(目標)	全がん検診受診率の向上 目標:50% 「新たなステージに入ったがん検診の総合支援事業」の活用により①個別の受診勧奨・再勧奨(大腸がん検診、乳がん検診)②精密検査受診勧奨を行う。
○R2実績	①は、新型コロナウイルス感染症対策のため勧奨対象者を見直し実施。詳細は2.がん検診受診勧奨項目参照。 ②は計画通り実施。

事業名	「からだ改革塾」
実施機関	上里町
現状・課題等	生活習慣病予防のための教室として、「からだ改革塾」を実施した。日本女子体育大学に業務委託し、運動や体力測定などを実施している。「たまる健★幸マイレージ事業」の対象事業となっている。
○事業概要	
【事業名】	「からだ改革塾」
【対象】	20歳以上の町民
【方法】	身体・体力測定、筋トレや食事の教室等
【手順】	
○R3計画(目標)	生活習慣病予防のための規則正しい生活習慣の知識普及と定着化 今年度は新型コロナウイルス感染症予防対策をとり、オンラインなどの形式で実施する予定。
○R2実績	DVD動画視聴型運動プログラム 実施回数:1コース 参加者:10名 筋力トレーニング等の教室や体力測定を実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症予防の観点から中止となった。

事業名	特定健康診査(個別健診)受診勧奨
実施機関	上里町
現状・課題等	集団健診の日程は予約で満員となったが、目標としている受診率には達成していない状況のため、下半期に実施を予定している個別健診の受診勧奨を実施
○事業概要	
【事業名】	特定健康診査(個別健診)受診勧奨
【対象】	40～74歳までの国民健康保険加入者のうち健診未受診者
【方法】	
【手順】	①広報掲載②申込みや希望の有無に係わらず受診券を個別に送付③ホームページに掲載
○R3計画(目標)	医療保険者が行う特定健康診査・特定保健指導に準ずる。
○R2実績	特定健康診査受診者:【集団】572人(内、国保362人)【個別】1,895人(内、国保1255人) 対象者数:5726人 個別健診受診勧奨通知を年2回郵送した。(11月末に未受診者全員、12月R2受診歴なし・過去3年受診歴ありの方)

事業名	糖尿病予防教室
実施機関	上里町
現状・課題等	特定健康診査等の結果、糖尿病の検査項目であるHbA1cの値がやや高い方が多いため、糖尿病に対する正しい知識の普及と重症化予防の教室を実施
○事業概要	
【事業名】	糖尿病予防教室
【対象】	糖尿病予防に関心のある方。特に、HbA1c6.0%以上の方。
【方法】	広報で周知し、さらに特定健診受診者のうち対象者には個別通知、運動実践、糖尿病に関する健康講話、食事診断
【手順】	
○R3計画(目標)	糖尿病予防のための正しい知識の普及と生活習慣改善を目的として、糖尿病予防教室を3回実施予定。
○R2実績	2月に実施予定だったが、新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言が発令されていたため、中止。申込があった12名にパンフレット等の情報提供を行った。

事業名	かみさと たまる健★幸マイレージ事業
実施機関	上里町
現状・課題等	平成29年度までがん予防推進対策事業として実施していた上里町いきいきスタンプラリーと埼玉モデル事業を融合した「かみさと たまる健★幸マイレージ事業」を令和元年10月よりスタートした。手軽に健康づくりを始められることから、多くの住民にPRし、新規参加者を増やしていきたい。
○事業概要	
【事業名】	かみさと たまる健★幸マイレージ事業
【対象】	20歳以上の町民
【方法】	ICカードやスマートフォンアプリを介して、ウォーキングの歩数や対象事業への参加が健幸ポイントとして付与され、たまったポイント数に応じた上里町共通商品券と交換できる事業。対象事業は、がん検診や特定健診のほか、生涯学習課、高齢者いきいき課主催の教室も対象となっている。
【手順】	当事業に参加登録後、ウォーキングや対象事業へ参加する。
○R3計画(目標)	健★幸マイレージ参加者登録者:850人以上
○R2実績	参加登録者:797人

事業名	歯周疾患検診
実施機関	上里町
現状・課題等	歯の喪失原因である歯周疾患を早期に発見し、予防する。
○事業概要	
【事業名】	歯周疾患検診
【対象】	40・45・50・55・60・65・70・75・80歳の男女
【方法】	＜検診受診方法＞ 対象者は委託歯科医療機関に事前予約し、受診する。(受診費用;無料) ＜周知方法＞
【手順】	1) 受診勧奨(①4月下旬に対象者全員へがん検診の通知と同時に受診勧奨通知を発送 ②年度途中に実施される他の検診と同時に受診勧奨) 2) 広報やホームページに掲載 3) 保健センターや実施歯科医療機関にポスター掲示
○R3計画(目標)	受診率:5.0%
○R2実績	受診率:3.3%(受診者121人、対象者3,682人) 新型コロナウイルス感染症予防の観点から、受診を控えていた時期があったため、例年より受診者が少なかった。

事業名	骨粗鬆症検診
実施機関	上里町
現状・課題等	骨粗鬆症を早期に発見し、転倒による骨折やロコモティブシンドロームを予防するために実施。早期発見することで、食生活や運動など生活習慣を見直す契機とする。
○事業概要	
【事業名】	骨粗鬆症検診
【対象】	受診希望者
【方法】	①40・45・50・55・60・65・70歳の節目年齢女性に個別に受診勧奨通知 ②広報掲載 ③ホームページ掲載
【手順】	肺がん・結核検診と全日程同時実施。
○R3計画(目標)	受診率:節目年齢 4%以上 ・新型コロナウイルス感染症対策により、昨年度と同様に受診者数を制限して実施予定。
○R2実績	受診者数:367人(節目41人、節目外326人) 節目年齢受診率:2.6%(節目対象者1,585人) 新型コロナウイルス感染症予防のため、受診人数を制限して実施したため、①の受診勧奨ができなかった。

事業名	健康増進・食育推進計画「上里町健康づくり推進総合計画」
実施機関	上里町
現状・課題等	健康増進・食育推進計画の基本理念のもと、生活習慣病の予防や健康づくり推進のために全町的に取り組んでいく。
○事業概要	
【事業名】	健康増進・食育推進計画「上里町健康づくり推進総合計画」
【対象】	全町民
【方法】	計画の目標を達成するため、全町的に健康づくりに取り組む。
【手順】	各課で計画を念頭に事業に取り組んでもらう。
○R3計画(目標)	行政、地域、大学等が連携をとりながら健康づくりに取り組む。「健康ガイドブック」等で基本目標についてPRする。
○R2実績	令和2年度は健康づくりと食育に関するアンケートを実施し、中間評価報告書を作成した。 ホームページの健幸コラム等とおして、分野別の取り組みについてPRを行った。



○事業分野

## 5 健康危機管理体制の整備充実

○目標

大規模災害の発生時には、医療資源を最大限活用し適切な医療を提供できるよう、関係機関の連携体制を構築します。また、被災者への健康管理活動が適切に実施できるよう活動体制を強化します。

新型インフルエンザや新興感染症が発生した場合に備え、地域医療体制の整備、関係機関の連携、研修・訓練の実施に努めます。また、大規模集団感染などの事例が発生した場合には、保健所、市町、医療機関等が協力して住民の生命・健康の保護に努めます。

食品等事業者による衛生管理の国際標準であるHACCP(危害分析・重要管理点方式)に基づく衛生管理の導入を支援し、食品の安全性確保、食中毒の発生防止を推進します。また、県民に対して食品の安全確保に関する情報を積極的に提供します。

○主な取組

■大規模災害時における医療提供体制の確保

■中長期的な健康管理活動の確保

■新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化

■食の安全安心

実施主体:保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、消防本部、食品等事業者、食品関連団体

○圏域別取組実施状況

### 医師会

【熊谷保健所管内】

事業名	災害時における医療救護活動
実施機関	熊谷市医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	一般市民
【方法】	医師会の災害時行動マニュアルにより、緊急時に適切な行動がとれるよう体制の整備や調整を進める。
【手順】	
○R3計画(目標)	事業概要と同様 令和3年度においては、災害時医療救護活動対策委員会において災害時行動マニュアルを改訂すると共に、熊谷保健所と連携し、BCP研修を開催し病院における策定を進める。
○R2実績	事業概要を踏まえ対応を進めた。 令和2年10月27日(火)の熊谷総合病院大規模災害訓練において、会員によるトリアージ訓練を行った。

事業名	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う地域の医療体制の整備
実施機関	熊谷市医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	一般市民
【方法】	新型コロナウイルス感染症の感染拡大に対処し、熊谷保健所及び熊谷市等と連携し、地域の医療資源を活用し、地域の医療体制を整備する。また、熊谷市と連携し新型コロナウイルスワクチン接種を進める。
【手順】	
○R3計画(目標)	・事業概要と同様 ・関係者と連携し、課題と情報を共有し、地域としての検討を進める。 ・令和2年度に設置した帰国者・接触者外来、PCR検査センター及び診療・検査医療機関を引き続き円滑に運営する。 ・感染拡大期には自宅療養者に対応する健康観察医を設置するなど、在宅医療の充実を図る。 ・ワクチン接種では、医療従事者の優先接種を早期に完了し、熊谷市とともに住民接種の進展を図る。
○R2実績	・事業概要を踏まえ検討を進め実施した。 ・当会主導により、熊谷保健所、熊谷市、地域の専門病院及び中堅病院、当会役員等により必要に応じ対策会議を開催し、地域の医療体制の整備について検討を進めた。 ・この結果、他の地域に先駆け熊谷版帰国者・接触者外来を設置した。また、PCR検査センターや診療・検査医療機関を順次設置し、地域の医療体制を整備した。 ・令和3年3月からは、新型コロナウイルスワクチンの医療従事者優先接種を行い、市内の全ての病院の参加による接種体制を整備した。

事業名	医師会災害対策委員会と行政災害担当課との合同会議開催
実施機関	深谷寄居医師会
現状・課題等	大規模災害発生後の適切な医療提供について、医師会災害対策委員会と行政災害担当課の連携促進
○事業概要	
【対象】	医師会災害対策委員、深谷市・寄居町防災関連担当者等
【方法】	深谷市・寄居町と災害時の連携について情報交換及び課題の抽出
【手順】	会議の開催
OR3計画(目標)	災害対策委員会等の開催 (大規模災害発生に備え作成した災害医療マニュアル等の問題点の抽出及び見直し)
OR2実績	災害医療マニュアル等の見直しのための会議は、諸事情により未実施

事業名	感染症対策(新型コロナウイルス感染症)
実施機関	深谷寄居医師会
現状・課題等	大規模災害発生後の適切な医療提供について、医師会新型コロナウイルス対策委員会と行政災害担当課の連携促進
○事業概要	
【対象】	深谷寄居医師会会員医療機関
【方法】	新型コロナウイルス対策委員会の開催
【手順】	
OR3計画(目標)	PCR検査センターの継続 帰国者・接触者相談センターの継続 新型コロナウイルスワクチン接種に係る実施体制の構築
OR2実績	新型コロナウイルス対策委員会の開催(20回) PCR検査センターの設置(実績) ・鼻咽頭:計321人/うち陽性17人(5.3%) ・集合契約PCR検査(唾液):計1,239人/うち陽性43人(3.5%) 帰国者・接触者相談センターの設置

【本庄保健所管内】

事業名	地域JMAT立ち上げの課題検討(埼玉県医師会主導による)
実施機関	本庄市児玉郡医師会
現状・課題等	
○事業概要	
【対象】	
【方法】	
【手順】	
OR3計画(目標)	埼玉県医師会主導による地域JMAT立ち上げの課題検討。
OR2実績	

## 歯科医師会

### 【熊谷保健所管内】

事業名	熊谷市歯科医師会災害対策本部
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	防災連絡網は出来ているが、連絡手段が固定電話番号のみとなっている。災害時に有効なものとするために、複数の連絡手段の作成が必要と思われる。連絡方法の徹底を引き続き図っていく。
○事業概要	
【対象】	熊谷市歯科医師会会員(全会員)
【方法】	災害対策本部の設置
【手順】	
○R3計画(目標)	
○R2実績	防災連絡網の更新、防災備品購入

事業名	熊谷市総合防災訓練
実施機関	熊谷市歯科医師会
現状・課題等	平成28年3月29日(火)に災害時における医療救護活動に関する協定を締結した。より綿密な協力体制を整える必要がある。
○事業概要	
【対象】	
【方法】	会議への参加及び訓練への会員の派遣
【手順】	
○R3計画(目標)	
○R2実績	実績なし

事業名	防災連絡協議会、身元確認班研修会
実施機関	埼玉県、埼玉県歯科医師会
現状・課題等	身元確認における口腔内チャートの採得等、会員全体のスキルアップが引き続き課題である。
○事業概要	
【対象】	
【方法】	協議会、研修会への会員の派遣
【手順】	
○R3計画(目標)	
○R2実績	令和3年1月22日(金)埼玉県北部保健医療圏地域災害保健医療調整会議(書面会議)

事業名	大規模災害対策推進
実施機関	大里郡市歯科医師会
現状・課題等	大規模な災害発生時に地域住民への適切な歯科医療を提供するシステムづくり
○事業概要	
【対象】	大里郡市歯科医師会
【方法】	大規模災害時の歯科医療提供システムと身元確認のための整備と研修
【手順】	
○R3計画(目標)	
○R2実績	会員に災害時連絡表の配布・マニュアル確認の徹底 災害発生直後の被害状況報告書の整備・連絡経路の整備

【本庄保健所管内】

事業名	防災及び災害対策協定
実施機関	本庄市、本庄市児玉郡歯科医師会
現状・課題等	平成12年に協定した防災及び災害対策(協定書等)の改定
○事業概要	本庄市児玉郡歯科医師会 防災及び災害対策規則・要項の改定及び協定締結
【対象】	本庄市
【方法】	本庄市と本庄市児玉郡歯科医師会で協議
【手順】	本庄市と本庄市児玉郡歯科医師会で協議し協定締結
○R3計画(目標)	本庄市児玉郡(本庄市・美里町・神川町・上里町)についても、改定防災および災害対策規則・要綱に基づき、同様に協定を結び、災害に備える。
○R2実績	平成12年に協定した防災及び災害対策(協定書等)を継続、更新締結に向けて規則・要綱の改定

事業名	埼玉県北部保健医療圏地域災害保健調整会議
実施機関	本庄保健所、本庄市児玉郡歯科医師会
現状・課題等	埼玉県における災害時保健医療体制の充実・強化に関する取り組み方針について
○事業概要	
【対象】	保健所、市町・医師会・歯科医師会・薬剤師会・病院・消防本部・食料等事業者及び団体
【方法】	メール会議
【手順】	会議資料をメール及び郵送にて送付しメールにて質疑及び意見し回答する方法
○R3計画(目標)	新型コロナウイルス感染症に関する状況、対策 また 災害時医療体制について、協議することを目標とする。
○R2実績	令和2年12月深谷市において、熊谷保健所 本庄保健所が北部保健医療圏地域災害保健医療調整会議を行った。

事業名	歯科医師によるワクチン接種実施のための教育研修 (新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のための筋肉内注射実技研修)
実施機関	厚生労働省、本庄市、本庄市児玉郡医師会、本庄市児玉郡歯科医師会
現状・課題等	新型コロナウイルスワクチン接種が進む中で、「打ち手」の不足を解消する必要がある。
○事業概要	
【事業名】	歯科医師によるワクチン接種実施のための教育研修 (新型コロナウイルス感染症に係るワクチン接種のための筋肉内注射実技研修)
【対象】	本庄市児玉郡歯科医師会会員(歯科医師)
【方法】	医師会医師の指導の下、マネキンを使用して実施
【手順】	協力歯科医を募り、リモートによる研修及び実技研修を開催
○R3計画(目標)	要請があれば、ワクチン集団接種に即時対応する。
○R2実績	未実施

## 薬剤師会

### 【熊谷保健所管内】

事業名	健康危機管理体制の確立と検討
実施機関	熊谷薬剤師会
現状・課題等	大規模災害時における医薬品の供給や医療提供体制の確保に向けた取組
○事業概要	
【対象】	薬剤師
【方法】	定例会・委員会での検討、研修会への参加
【手順】	1. 大規模災害時、新型インフルエンザ等発生時の対応について、定例会・委員会等で検討し、会員間及び関連組織との間で情報共有する。 2. 災害時等の危機管理に関する訓練等の研修会に参加する。
○R3計画(目標)	1. 保険薬局特別委員会定例会 11回開催 2. 新型コロナワクチンの住民接種への協力
○R2実績	1. 保険薬局特別委員会定例会 9回開催 112名参加 2. 地域災害保健医療調整会議(書面会議) 1回開催 1名参加

事業名	災害時の医薬品及び医療材料の備蓄と供給に係る整備
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	災害用医薬品・医療材料の備蓄と供給体制の整備
○事業概要	
【対象】	深谷市・関係機関
【方法】	災害時における深谷市および関係機関との連携を図る。
【手順】	
○R3計画(目標)	・災害時の医薬品及び医療材料の備蓄について深谷市及び関係機関と情報共有する
○R2実績	・大地震等発生時初動マニュアル会員へ伝達 ・災害時の医薬品及び医療材料の備蓄について深谷市及び関係機関と情報共有する

事業名	新型インフルエンザ等発生時の情報伝達方法の整備・確認
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	新型インフルエンザ等発生時の情報伝達方法の整備・確認
○事業概要	
【対象】	深谷市薬剤師会会員
【方法】	新型インフルエンザ等発生時の連絡訓練に参加する。
【手順】	
○R3計画(目標)	新型インフルエンザ等発生時の情報伝達訓練に参加・会員への伝達方法について確認。
○R2実績	新型インフルエンザ等発生時の情報伝達訓練に参加・会員への伝達方法について確認。

事業名	新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化
実施機関	深谷市薬剤師会
現状・課題等	新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化
○事業概要	
【対象】	深谷市薬剤師会会員
【方法】	正しい知識の習得と感染予防の実施
【手順】	
○R3計画(目標)	・感染症と正しい消毒方法について勉強会の実施 ・感染防止対策の強化
○R2実績	・感染防止対策の強化

事業名	大規模災害時における医療提供体制の確保に向けた取組
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	健康危機管理体制そのものが当薬剤師会では構築できておりません。まずは行政の関連部署と協議させていただき、どのような順番にしてその都度何ができるかというマニュアル作成をめざします。
○事業概要	
【対象】	寄居薬剤師会薬局、寄居薬剤師会々員
【方法】	平成28年3月に協定を結んだ内容にそって、被災された方の服薬されていた治療薬の提供や救急薬品・消毒薬の提供業務が円滑に進められるように準備をします。その拠点として寄居薬剤師会薬局にその備蓄と管理について委任します。
【手順】	
OR3計画(目標)	薬剤師会に期待されるものとして、被災された方の服薬されていた治療薬の提供や救急薬品・消毒薬の提供という物的側面に重きがおかれていると想定されますので、寄居薬剤師会薬局にその備蓄と管理について可能かどうか検討し、できることは実践します。30名規模の救急薬品・消毒薬の備蓄の準備に取組みます。
OR2実績	多数の被災者用の救急薬品・消毒薬の備蓄まではできておりません。

事業名	中長期的な健康管理活動の確保
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	中長期的な健康管理活動として具体的にどのような活動があるのか研究し、TPOに合わせた服薬指導などできることを実践する。
○事業概要	
【対象】	会員薬局
【方法】	薬物治療を行っている患者様が疾病状態から脱却するまでに実施すること、その脱却後元にもどらないような助言や指導を各疾病別に検討し、随時患者様にお話する。
【手順】	疾病予防や健康増進の提案をします。
OR3計画(目標)	中長期的な健康管理活動として具体的にどのような活動があるのか研修を予定しております(年1回)。病気にかかりやすい生活習慣を見直すリーフレットを会員店舗で配布します(随時)。
OR2実績	中長期的な健康管理活動は随時会員薬局にて実施。

事業名	新型インフルエンザ・新興感染症対策の強化
実施機関	寄居薬剤師会
現状・課題等	新型コロナウイルス感染予防対策が急務な状況。高齢者はネット予約に対して不慣れで、コロナワクチン接種の予約を取りづらい状況を会員薬局が順調に接種予約できるように支援する。
○事業概要	
町を挙げての新型コロナワクチン接種事業の推進に対する協力、支援	
【対象】	寄居町民
【方法】	寄居町役場庁舎に隣接するアタゴ記念体育館において、ワクチン接種の集団接種を実施するコロナワクチンを注射筒に充填する作業を、その手技を事前に練習した会員が行う。
【手順】	
OR3計画(目標)	新型コロナ感染予防対策として町民へのワクチン接種事業の周知支援、事業の協力。
OR2実績	30名程度の抗インフルエンザ薬や100名分マスクなどの備蓄中。

【本庄保健所管内】

事業名	大規模災害の発生時における医療提供体制の確保
実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会
現状・課題等	サイボウズによる会員間での情報共有、携帯電話での緊急連絡
○事業概要	
【対象】	地域住民・会員薬局
【方法】	会員間で、日常から連携を強化する。サイボウズによる情報共有。お薬手帳の活用についても理解してもらう。
【手順】	
OR3計画(目標)	引き続き、災害時における薬剤師の役割等について学ぶ。
OR2実績	日頃から、会員間でサイボウズofficeによる情報共有は、行っている。

事業名	中長期的な健康管理活動
実施機関	本庄市児玉郡薬剤師会
現状・課題等	災害が長引いた時の健康維持・健康管理について学ぶ。
○事業概要	
【対象】	地域住民・会員薬局
【方法】	災害時の健康管理等について学んだり、被災された人に会う機会があれば何が 必要か、情報を得る。
【手順】	
○R3計画(目標)	中長期化した場合薬剤師に出来る事を広く理解してもらおう。
○R2実績	日頃から、薬局内でも、災害時の健康管理等について、考えてもらった。

**行政**

**【熊谷保健所管内】**

<b>事業名</b>	関係機関との災害時通信訓練及び健康危機管理訓練の実施、地域災害保健医療調整会議の設置
<b>実施機関</b>	熊谷保健所
<b>現状・課題等</b>	大規模健康危機管理体制における関係機関との連携強化、職員の対応能力の向上が必要とされる。
<b>○事業概要</b>	
【事業名】	関係機関との災害時通信訓練
【対象】	拠点保健所管内保健所、市町村、医師会、消防本部
【方法】	衛星携帯電話・防災無線の通信訓練
【手順】	保健所間の衛星携帯電話通信訓練、市町、医師会、消防との防災無線通信訓練の実施
【事業名】	健康危機管理訓練
【対象】	保健所、市町村、医師会、消防、医療機関等
【方法】	大規模健康危機管理訓練・EMIS入力訓練の実施
【手順】	災害に備えた(感染症対策を含む)健康危機管理訓練を実施 医療機関によるEMIS入力訓練を実施
【事業名】	地域災害保健医療調整会議の設置
【対象】	保健所、市町村、医師会、消防、医療機関等
【方法】	発災時の地域災害保健医療対策会議の迅速な設置体制の確保
【手順】	関係機関への調査・ヒアリング 会議開催(年1回)
【事業名】	災害時小児周産期医療体制の確保
【対象】	保健所、市町村、医師会、消防、医療機関等
【方法】	発災時の小児周産期医療の迅速な体制の確保
【手順】	会議開催(年1回)
<b>OR3計画(目標)</b>	1関係機関との災害時通信訓練 防災行政無線通信訓練 年1回 衛星携帯電話訓練(保健所:鴻巣、本庄、秩父、熊谷)6月から複数回 2健康危機管理訓練 R3年9月30日(延期)、EMIS入力訓練(職員訓練兼ねる)年4回 3病院BCP策定研修R3年10月18日、病院BCP策定研修会(発展編)R3.9.17(延期) 4地域災害保健医療調整会議 年1回 5北部地区(熊谷・本庄)災害時小児周産期医療体制確保の情報交換会 年1回
<b>OR2実績</b>	1関係機関との災害時通信訓練 防災行政無線通信訓練 R2.12.3 衛星携帯電話訓練(保健所:鴻巣、本庄、秩父、熊谷)8回 2健康危機管理訓練 R2年8月7日 計45名、EMIS入力訓練(職員訓練兼ねる)年2回 3熊谷保健所BCP策定研修 R2年8月20日 計60名 4地域災害保健医療調整会議【書面開催】R3.1.22 5北部地区(熊谷・本庄)小児周産期リエゾンとの情報交換会R2.10.19開催



事業名	医療提供体制の整備及び新型インフルエンザ等感染対策体制整備
実施機関	熊谷保健所
現状・課題等	温暖化等環境や生態系の変化、グローバル化を背景に海外で発生、流行する感染症が国内に流入し、発生が確認されている。近年では、平成21年の新型インフルエンザの大流行や平成26年のデング熱の国内発生その他、海外では高病原性鳥インフルエンザやエボラ出血熱、MERS(中東呼吸器症候群)等の流行が確認されている。特に今後国内、管内において国際的なスポーツイベント等を控えていることも踏まえ、国内外の感染症発生や大規模集団感染等を想定した健康危機管理体制の強化が必要である。
○事業概要	
【事業名】	医療提供体制の整備
【対象】	医師会、病院、市町、消防本部
【方法】	医療機関等への協力依頼
【手順】	感染症関連情報の提供 担当者会議の開催・感染症重大事案対策事業の実施
【事業名】	新型インフルエンザ等感染対策体制整備
【対象】	保健所、市町村、医療機関等
【方法】	訓練等の開催
【手順】	訓練(防護具着脱・情報伝達・患者搬送等)の実施
OR3計画(目標)	1 感染症担当者会議(新型コロナウイルス感染症対策連絡会議) 1回
OR2実績	1 感染症担当者会議(新型コロナウイルス感染症対策連絡会議) 1回 33名参加 2 シミュレーション訓練(所内防護服着脱訓練) 1回 36名参加 3 社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症対策研修会の開催 1回 30人

<b>事業名</b>	<b>HACCP制度化に向けた導入支援</b>
<b>実施機関</b>	熊谷保健所
<b>現状・課題等</b>	近年、ノロウイルスや腸管出血性大腸菌O157による広域的で大規模な食中毒事件が発生している。これらの食中毒はいずれも少量の原因菌で発症するため、食品関係施設での衛生管理を一層徹底する必要がある。
<b>○事業概要</b>	
【対象】	食品等事業者
【方法】	HACCP支援講習会の開催
【手順】	
<b>○R3計画(目標)</b>	食品事業者のHACCPに基づく衛生管理の導入支援
<b>○R2実績</b>	1 HACCP支援講習会・個別相談会 37回開催 1421名 2 立入調査等によるフォローアップ支援 1996施設

<b>事業名</b>	<b>災害医療対策マニュアルの策定</b>
<b>実施機関</b>	熊谷市
<b>現状・課題等</b>	大規模災害等に備えるため、熊谷市地域防災計画に基づき関係機関との連携強化を図ります。
<b>○事業概要</b>	
【対象】	医師会、歯科医師会、薬剤師会
【方法】	平成26年度にマニュアルが完成し、平成27年度に三師会と災害時の医療活動に関する協定を締結したので、引き続き、災害時の医療救護活動体制の連携強化について協議する。
【手順】	
<b>○R3計画(目標)</b>	災害医療対策マニュアルの見直し
<b>○R2実績</b>	引き続き、協議を継続した。

<b>事業名</b>	<b>総合防災訓練の実施</b>
<b>実施機関</b>	熊谷市
<b>現状・課題等</b>	災害時における各機関の役割を明確にし、円滑な支援活動が行われるよう努めます。
<b>○事業概要</b>	
【対象】	医師、看護師等
【方法】	熊谷市総合防災訓練において、救護所運営訓練を行う。(隔年実施)
【手順】	
<b>○R3計画(目標)</b>	総合防災訓練を実施し、救護所運営訓練を行う。
<b>○R2実績</b>	コロナの影響で中止、延期

<b>事業名</b>	<b>予防接種体制の整備</b>
<b>実施機関</b>	熊谷市
<b>現状・課題等</b>	新型インフルエンザ等の発生に備えるため、予防接種体制の構築を図ります。
<b>○事業概要</b>	
【対象】	熊谷市、医師会、医療機関
【方法】	予防接種体制を整備する。
【手順】	
<b>○R3計画(目標)</b>	住民接種マニュアルの作成
<b>○R2実績</b>	予防接種体制の研究を進めた。

事業名	救命講習会の開催
実施機関	熊谷市
現状・課題等	災害時に必要不可欠な、応急手当の普及啓発に努める。
○事業概要	
【対象】	一般市民及び各事業所
【方法】	電話による受付
【手順】	・市報の公募による受付・開催(個人申込) ・希望する場所での出張開催(団体申込)
○R3計画(目標)	年間15回、受講者数300人
○R2実績	令和2年度 15回実施、受講者数321人

事業名	災害時の医療救護活動／応急医薬品の協力に関する協定
実施機関	深谷市(総務防災課)
現状・課題等	医師会・歯科医師会・薬剤師会との協定を締結
○事業概要	
【対象】	医師会・歯科医師会・薬剤師会
【方法】	災害時における各関係機関との連携
【手順】	応急救護所を開設し、医師会に医療救護班の派遣を要請する。また、医薬品等を必要とするときは、薬剤師会に医薬品等の供給について協力を要請する。
○R3計画(目標)	災害時は協定に基づき協力を要請する
○R2実績	実績なし

事業名	深谷市総合防災訓練
実施機関	深谷市(総務防災課)
現状・課題等	市主催の総合防災訓練を実施
○事業概要	
【対象】	防災関係機関、関係団体及び市民
【方法】	応急救護所運用訓練ほか
【手順】	応急救護所及びトリアージポストを設置し、医療隊と連携し多数傷病者のトリアージ及び救護を行う。
○R3計画(目標)	令和3年11月5日に緊急地震速報訓練に合わせてシェイクアウト訓練を開催する。
○R2実績	※新型コロナウイルス感染症の感染防止のため中止

事業名	自主防災会防災訓練
実施機関	深谷市(総務防災課)
現状・課題等	自主防災会による防災訓練を実施
○事業概要	
【対象】	自主防災会員
【方法】	初期消火、応急救護、炊出し訓練、災害図上訓練(DIG)等を実施する。
【手順】	消防、消防団、地域防災指導員の指導により、防災訓練を実施する。
○R3計画(目標)	防災訓練を実施
○R2実績	訓練回数15回 参加者142人

事業名	深谷市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づく関係機関との調整・連携(国や県の動向に注視し、情報収集を行う)
実施機関	深谷市(保健センター)
現状・課題等	深谷市新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき、平時から関係機関と連携する必要がある。
○事業概要	
【対象】	市民、関係機関等
【方法】	特措法及び市計画に則り、市対策本部を設置。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、国県の指示に基づき、市の対策を実施。
○R3計画(目標)	市対策本部の設置を継続。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止対策について国県の指示に基づき対策を実施。また、国県の動向に注視し、情報収集を行いながら関係機関と調整・連携を図っていく。
○R2実績	・市対策本部の設置。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、市として各種対策を実施。 ・新型コロナワクチン臨時接種の実施。

事業名	深谷市総合防災訓練(消防本部)
実施機関	深谷市消防本部
現状・課題等	防災意識の高揚・対応能力の強化、防災関係機関、市民、事業所との連携強化。
○事業概要	
【対象】	市、防災関係機関、市民、事業所等
【方法】	実践的かつ効果的な各種訓練を総合的に実施
【手順】	大規模災害(震災)を想定し実施
○R3計画(目標)	令和3年9月4日(土)中止 ※令和3年11月5日(金)にシェイクアウト訓練、11月下旬に情報伝達訓練を実施予定(ともに総務防災課対応)
○R2実績	令和2年9月5日(土) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

事業名	関越自動車道埼玉県消防連絡協議会合同訓練
実施機関	深谷市消防本部
現状・課題等	関越自動車道における災害の発生に対し、被害を軽減するため関係機関の連携強化。
○事業概要	
【対象】	消防、警察、埼玉DMAT、東日本高速道路(株)
【方法】	多重衝突事故等を想定した、各関係機関との連携訓練を実施
【手順】	高速道路上での多重衝突事故を想定し実施
○R3計画(目標)	令和3年10月20日(水) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止
○R2実績	令和2年10月21日(水) ※新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

事業名	皆野寄居バイパストンネル防災訓練実施
実施機関	深谷市消防本部
現状・課題等	トンネル等における自動車の火災事故防止策について
○事業概要	
【対象】	消防、警察、土木整備部、道路公社
【方法】	寄居トンネル内で車両事故を想定した、各関係機関との連携訓練を実施
【手順】	トンネル内での車両事故を想定し実施
○R3計画(目標)	令和3年11月10日(水)実施予定
○R2実績	令和2年11月11日(水) 消防本部24名参加

事業名	災害時における体制整備事業
実施機関	寄居町
現状・課題等	防災と健康管理部門とで情報共有する場がなく、災害時の対応について情報共有が十分でない。
○事業概要	
【対象】	庁内関係課
【方法】	保健所主催の会議・研修会に参加し、対応について学ぶと共に関係課で情報共有する。
【手順】	る。
○R3計画(目標)	保健所主催の会議・研修会に参加し、対応について学ぶと共に関係課で情報共有する。
○R2実績	保健所主催健康危機管理研修への参加

### 【本庄保健所管内】

事業名	災害時保健医療体制の強化
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	首都直下地震など多数傷病者の発生が見込まれる大規模災害時において、患者の重症度に応じた医療を提供するため、災害現場から救護所、地域の医療機関、更に後方医療機関に至る体系的な医療提供体制を構築する必要がある。
○事業概要	
【対象】	医師会、歯科医師会、薬剤師会、看護協会、災害拠点病院等医療機関、地域災害医療コーディネーター、警察、消防、市町等
【方法】	地域災害保健医療調整会議を設置し、発災時の地域災害保健医療対策会議の迅速な設置体制を確保する。 ・災害時連携訓練を開催し、災害時における連携体制の強化及び事案対応の迅速化を図る。 ・災害時小児周産期医療に関するマニュアルの作成及び関係機関との意見交換を行う。
【手順】	・地域災害保健医療調整会議(年1回程度)における議論等を通じた市町や関係機関との情報共有(緊急時の連絡先・名簿等) ・マニュアル等の作成や研修・訓練の実施を通じた災害時の対応強化
○R3計画(目標)	1 地域災害保健医療調整会議の開催(年1回程度) 2 災害時連携訓練の開催(年1回程度) ※今年度から開催 3 災害時小児周産期医療対応マニュアルの作成及び関係機関との意見交換会の実施
○R2実績	地域災害保健医療調整会議の開催(熊谷保健所と合同) 1回開催 ※書面開催

事業名	新型インフルエンザ等対策会議 保健所管内市町感染症担当者連絡会議 新型インフルエンザ等入院協力医療機関との連絡体制の整備
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	新型インフルエンザ等の対応を適切かつ的確に行うためには、管内の関係者間での情報の共有や医療体制等の整備が必要である。
○事業概要	
【対象】	保健所、市町、医師会、歯科医師会、薬剤師会、病院、消防本部
【方法】	対策会議:北部保健医療圏保健医療協議会、保健所において実施 連絡会議:保健所において実施 入院医療機関との連絡体制整備:連絡網の更新と情報伝達方法の確認
【手順】	最新の情報や知見の共有を図り、管内発生時の医療等体制整備に関する協議を行う。
○R3計画(目標)	管内感染症担当者緊急連絡網の更新(5月) 新型コロナウイルス感染症についての情報の共有を目的とした会議の実施(12月) 管内の医療体制整備を目的とした郡市医師会との情報共有(適宜)
○R2実績	管内感染症担当者緊急連絡網を更新し、情報伝達体制を整備した。新型インフルエンザの県下一斉情報伝達訓練に関係機関と共に参加した。(11月)

事業名	新型インフルエンザ等対応訓練 関係者向け研修会
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	新型インフルエンザ等が発生した際に、保健所及び管内関係機関が適切かつ確な対応ができるよう、知識の普及と対応能力の向上を図る必要がある。
○事業概要	<p>【対象】 医療機関、市町職員、保健所職員等</p> <p>【方法】 訓練：情報伝達訓練、防護服着脱訓練等</p> <p>【手順】 県庁及び管内市町村、入院協力医療機関と情報伝達訓練を実施。関係機関に対する保健所防護服着脱訓練や車両搬送訓練への参加呼びかけ。医師会の協力を得ての研修会の開催。</p>
OR3計画(目標)	新型インフルエンザ等が実際に発生した時に、各機関が機動的に活動できる人材を育成する。
OR2実績	なし

事業名	本庄保健所アクションカードの作成
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	国は平成24年3月に「災害時における医療体制の充実強化について」を発出し、災害医療における保健所機能の強化を示している。しかし、災害時に参集できるのは限られた職員であるため、参集した職員が優先的に行動できるマニュアル等の整備が必要である。
○事業概要	<p>【対象】 本庄保健所職員</p> <p>【方法】 埼玉県災害時公衆衛生活動マニュアルに基づいたアクションの整理とカードの作成</p> <p>【手順】 災害時関連情報の整理(医療機関名簿、避難所名簿、要支援者名簿等)及び様式、資料等の作成。所内の周知を行う。</p>
OR3計画(目標)	災害時に備えた所内体制整備の推進
OR2実績	なし

事業名	本庄保健所感染症研修会
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	管内における新型コロナウイルス感染症の動向について、管内の施設職員及び関係機関と情報共有し、施設内における発生に備えるとともに発生時の対応について理解を深める。
○事業概要	<p>【対象】 本庄保健所管内施設職員</p> <p>【方法】 本庄保健所感染症研修会の実施</p> <p>【手順】 施設内における発生に備えるとともに発生時の対応について理解を深める。また、研修会をとおして施設関係者との連携を強化し、クラスター発生防止に向けて取り組む。</p>
OR3計画(目標)	感染症研修会の実施(8月)
OR2実績	なし

事業名	HACCP制度化に向けた導入支援
実施機関	本庄保健所
現状・課題等	近年、ノロウイルスや腸管出血性大腸菌O157による広域的で大規模な食中毒事件が発生している。これらの食中毒はいずれも少量の原因菌で発症するため、食品関係施設での衛生管理を一層徹底する必要がある。
○事業概要	<p>【対象】 食品等事業者</p> <p>【方法】 HACCP支援講習会の開催</p> <p>【手順】</p>
OR3計画(目標)	食品事業者のHACCPに基づく衛生管理の導入支援 1 HACCP支援講習会・個別相談会の開催(通年) 2 立入調査等によるフォローアップ支援(通年)
OR2実績	1 HACCP支援講習会・個別相談会 32回開催 681人参加 2 立入調査等によるフォローアップ支援 621施設

事業名	災害時の医療救護活動に関する協定 避難行動要支援者避難支援体制の整備
実施機関	本庄市
現状・課題等	本庄市地域防災計画により実施。医師会・歯科医師会・薬剤師会と災害時の医療救護活動に関する協定を締結しており、計画改訂により、医療救護班の編成について、協定に基づいた災害医療コーディネーターの役割を計画に位置付け。災害時要援護者避難支援プランを策定。新型インフルエンザ等対策行動計画を策定。また、有事の時に機能するよう行動マニュアルの作成が必要。
○事業概要	
【対象】	医師会・歯科医師会・薬剤師会
【方法】	災害時における各関係機関との連携を確保
【手順】	協定書に則り実施
○R3計画(目標)	協定書に則り実施
○R2実績	協定書に則り実施(医療救護活動を実施する災害の発生なし)
【対象】	災害時に地域での支援を希望する要支援者
【方法】	避難行動要支援者避難支援プランの推進、災害時を想定した連携の確認
【手順】	支援希望者名簿および個別支援計画の作成・情報更新 地域防災計画に基づき、災害時における要支援者避難支援体制を維持
○R3計画(目標)	避難行動要支援者に名簿登載への同意確認を実施。 順次、個別支援計画の作成を実施。
○R2実績	避難行動要支援者に平常時からの避難行動要支援者名簿への登載について同意確認を実施。順次、個別支援計画の作成を行った。

事業名	総合防災訓練 土砂災害・全国統一防災訓練
実施機関	本庄市
現状・課題等	地域住民参加による総合的な防災訓練を実施。 (総合防災訓練年1回・土砂災害防災訓練年1回)
○事業概要	
【対象】	小学校区域内の住民・児童・市職員等
【方法】	地震を想定しての避難、救出、救護、消火等の訓練
【手順】	小学校校庭を会場に実施 地域住民参加による実践的な防災訓練を実施
○R3計画(目標)	コロナ禍のため小規模でも実践的な訓練を実施
○R2実績	コロナウイルス感染拡大防止のため、準備ができないことにより中止
【対象】	土砂災害警戒区域内の住民・市職員等
【方法】	避難訓練、情報伝達訓練
【手順】	対象地区の自治会を中心に、消防・警察・行政関係者が合同訓練を実施
○R3計画(目標)	コロナウイルス感染拡大防止のため、関係団体による情報伝達訓練及び、対象人数を限定した地域住民の参加による避難訓練を実施
○R2実績	コロナウイルス感染拡大防止のため避難訓練を中止し、6月に関係団体による情報伝達訓練のみ実施

事業名	図上訓練
実施機関	美里町、各自主防災組織
現状・課題等	土砂災害、地震等の災害を想定した図上訓練を実施
○事業概要	
【対象】	各自主防災組織
【方法】	各自主防災組織に町が出前講座を実施
【手順】	
○R3計画(目標)	災害の予測、避難経路、避難場所等を確認する。備蓄品として常備薬、生理用品を盛り込むなど自己防衛、防災意識の高揚や、避難体制の強化を図る。年間を通して5回の開催が目標
○R2実績	各自主防災組織が開催0回開催

<b>事業名</b>	<b>防災訓練</b>
<b>実施機関</b>	美里町、各自主防災組織
<b>現状・課題等</b>	初期消火訓練、避難訓練、避難所開設訓練、炊き出し訓練、救護訓練、災害時要支援者避難訓練(疑似体験訓練)などを複数組み合わせ実施
<b>○事業概要</b>	
【対象】	各自主防災組織
【方法】	各自主防災組織が地域住民を対象とした訓練を実施
【手順】	
<b>○R2計画(目標)</b>	住民一人ひとりと自主防災組織の災害対応力の向上及び被害の軽減を図ることを目指す。
<b>○R1実績</b>	各自主防災組織が開催 4回の開催 計249人参加

<b>事業名</b>	<b>自主防災組織連絡協議会防災講習会</b>
<b>実施機関</b>	美里町、各自主防災組織
<b>現状・課題等</b>	被災地での活動経験等の防災講話を聞き、地域防災における自主防災組織の役割を学ぶ
<b>○事業概要</b>	
【対象】	各自主防災組織
【方法】	防災講習会を開催
【手順】	
<b>○R3計画(目標)</b>	自主防災組織の災害対応力の向上及び被害の軽減を図ることを目指す。
<b>○R2実績</b>	美里町、自主防災組織連絡協議会が開催 0回開催

<b>事業名</b>	<b>新型インフルエンザ等連絡調整訓練</b>
<b>実施機関</b>	美里町保健センター
<b>現状・課題等</b>	新型インフルエンザ等が発生した場合の連絡調整訓練を実施し、緊急時に備える。
<b>○事業概要</b>	
【対象】	医師会、歯科医師会、薬剤師会、町長、教育長、各課局センター長等
【方法】	県で実施する連絡訓練に合わせて実施。
【手順】	
<b>○R3計画(目標)</b>	年1回実施
<b>○R2実績</b>	年1回実施



事業名	消防団員基礎教育訓練 消防団員普通救命講習 消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程 消防団員救助資機材取扱訓練 普通救命講習
実施機関	神川町
現状・課題等	消防団員の救命技術の向上、地域住民による救護活動の普及啓発
○事業概要	
【事業名】	消防団員基礎教育訓練
【対象】	入団から3年以内の団員
【方法】	消防学校の教育訓練の基準に基づき実施
【手順】	埼玉県消防協会本庄児玉支部及び埼玉県消防学校で対象者に実施
○R3計画(目標)	消防団員としての基礎的な火災防ぎよ、救助法、応急手当法を身につける。
○R2実績	7名参加
【事業名】	消防団員普通救命講習
【対象】	前回の受講から2年経過の団員
【方法】	普通救命講習カリキュラムに基づき対象者に実施
【手順】	児玉郡市広域消防本部に依頼
○R3計画(目標)	消防団員として、胸骨圧迫、AEDの使用法、止血法、異物除去法を身につける。
○R2実績	0回開催(コロナ禍により中止)
【事業名】	消防団員幹部教育指揮幹部科現場指揮課程
【対象】	消防団幹部団員
【方法】	消防学校の教育訓練の基準に基づき実施
【手順】	埼玉県消防学校で実施
○R3計画(目標)	幹部団員として災害現場での救助、救命法の現場指揮要領を身につける。
○R2実績	0名参加(コロナ禍により中止)
【事業名】	消防団員救助資機材取扱訓練
【対象】	消防団員
【方法】	消防団に配備されている救助資機材の取扱方法等の訓練
【手順】	児玉郡市広域消防職員を講師として実施
○R3計画(目標)	分団に配備されている救助資機材を災害時に有効活用できるよう訓練を実施。
○R2実績	0名参加(コロナ禍により中止)
【事業名】	普通救命講習
【対象】	町民・各種団体
【方法】	普通救命講習カリキュラムに基づき対象者に実施
【手順】	神川町消防団応急手当普及員及び児玉郡市広域消防で実施
○R3計画(目標)	消防団応急手当普及員として、町民に応急手当法の普及・啓発すること及び救命率の向上を目的とする。
○R2実績	0回開催(コロナ禍により中止)

<b>事業名</b>	<b>上里町災害対策本部応急活動</b>
<b>実施機関</b>	上里町
<b>現状・課題等</b>	上里町地域防災計画により実施。医師会、歯科医師会と協定を締結。(H12)
<b>○事業概要</b>	
【対象】	被災住民
【方法】	初期医療等医療応急体制の整備
【手順】	救護所の設置、医療機関との連携・体制整備
○R3計画(目標)	災害時の医療体制の確保
○R2実績	住民等対象講習会 3回 124名 職員等対象防災研修会 1回 37名 避難所開設・運営訓練 1回 25名

<b>事業名</b>	<b>防災フェスティバル</b>
<b>実施機関</b>	上里町
<b>現状・課題等</b>	災害時における意識啓発を図り、各自に対応した心構えを平常時に培っておく。
<b>○事業概要</b>	
【対象】	地域住民、日赤奉仕団、消防団、児玉郡市広域消防本部、行政
【方法】	救助訓練、防災食の炊き出し等
【手順】	災害時における対応訓練を実施し、意識の啓発を図る。
○R3計画(目標)	災害時の意識啓発を図る。
○R2実績	中止

<b>事業名</b>	<b>普通救命講習</b>
<b>実施機関</b>	上里町
<b>現状・課題等</b>	災害時における救命技術の向上 普通救命講習は2年に1度実施。
<b>○事業概要</b>	
【対象】	消防団員
【方法】	応急手当の講習。2年に1度実施
【手順】	未講習の消防団員に講習を実施
○R3計画(目標)	災害時の応急対応の備え
○R2実績	中止

<b>事業名</b>	<b>新型インフルエンザ対策訓練</b>
<b>実施機関</b>	上里町
<b>現状・課題等</b>	新型インフルエンザ及び全国的かつ急速なまん延のおそれのある新興感染症(未知の感染症)に対する対策の強化を図り、国民の生命・健康を保護し、国民生活・国民経済に及ぼす影響を最小にするために、対策訓練を実施する。
<b>○事業概要</b>	
【対象】	上里町新型インフルエンザ等対策本部・本庄市児玉郡医師会 本庄市児玉郡歯科医師会上里代表・本庄市児玉郡薬剤師会上里代表
【方法】	上里町新型インフルエンザ等対策行動計画に基づき実施する。
【手順】	国・県の訓練と連携する。
○R3計画(目標)	国・県の連絡訓練と同日に実施する。
○R3計画(目標)	国・県と連携した内容で実施。新型インフルエンザ等が発生したことを想定した連絡体制の確認。
○R2実績	国・県の連絡訓練と同日に訓練を実施した。

事業名	集団災害発生時の対応訓練
実施機関	児玉郡市広域消防本部
現状・課題等	集団災害発生時における他機関との連携について
○事業概要	
【対象】	消防本部、医療機関、警察
【方法】	関係機関との合同訓練
【手順】	座学講習、机上訓練及び実動訓練
○R3計画(目標)	多数傷病者事故対応訓練 座学講習 2回、図上訓練 1回、想定訓練 2回
○R2実績	なし

事業名	大規模災害発生時における各市町との連携
実施機関	児玉郡市広域消防本部
現状・課題等	大規模災害時における各市町との連携について
○事業概要	
【対象】	各市町
【方法】	各市町との合同訓練
【手順】	実動訓練
○R3計画(目標)	各市町との実動訓練(各1回)
○R2実績	なし

